

甲南大学経済学部

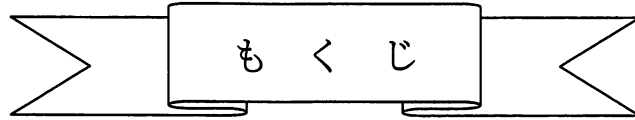
# 入門のしおり 2013

*Introduction to Department of Economics*

甲南大学経済学会

*Konan university Economic association*





まえがき .....	1
I 経済学部へようこそ .....	3
甲南大学経済学部 新入生のみなさんへ 経済学部長 高龍秀 .....	5
各経済学部教員（五十音順） .....	7
II 経済学部の先生方に質問（五十音順） .....	33
III 新入生へのメッセージ .....	83
「生きることを学ぶ，終に」 橋本卓弥 .....	84
IV 新入生のみなさんへ .....	87
甲南大学経済学会について .....	89
V 甲南大学経済学会会則 .....	93
総会規程 .....	94
評議員会規程・卒業生会員細則 .....	95

# ま え が き

入学生のみなさん、甲南大学経済学部へのご入学おめでとうございます。みなさんは、本学に入学し、経済学部生となると同時に、規約によって、《甲南大学経済学会》の会員となることになっています。みなさんが手にしたこの小冊子は、新入生を対象として作られた経済学部への案内書です。

この小冊子は、みなさんが経済学を学んでいく実際の場合を構成する甲南大学経済学部の教員、学生、そして、卒業生の方々の声で「経済学とその周辺を語る」という内容になっています。新入生のみなさんは大学に入学したばかりでまだ経済学部のことがよくわからないと思いますので、この冊子を読んでぜひ参考にしていただければと思います。

『Ⅰ 経済学部へようこそ』では、経済学部の先生方に様々な視点から、新入生の皆さんへメッセージをいただいています。先生ならではの経験から得た言葉が、皆さんのこれから始まる大学生活の糧になればと思います。

『Ⅱ 経済学部の先生方に質問』では、経済学部の先生方から、素朴な質問に対する答えをいただいています。このページを見ることで、甲南大学経済学部の先生がどんな方々であるのかということが少しはわかるのではないのでしょうか。「あの先生がこんな回答をしている」といった意外な発見ができるかもしれませんし、講義やゼミナールを選択する際の参考になるかもしれません。

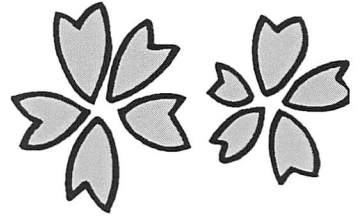
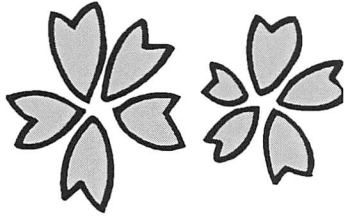
『Ⅲ 新入生へのメッセージ』では、甲南大学経済学部を卒業された方々からメッセージをいただいています。みなさんの先輩方はどのようなことをおっしゃっているのでしょうか。

『Ⅳ 新入生のみなさんへ』では、「甲南大学経済学会」という組織について紹介しています。甲南大学経済学会とは、経済学部の教員・学生・卒業生が対等の権利を持って運営している自治組織です。新入生のみなさんの中には、「経済学会という組織はまだ何のことかわからない」という人が多いかもしれません。そこで、「経済学会ってなんだろう？」というみなさんの疑問に対して、経済学会の具体的な活動やみなさんの交流の場である「経済コモンルーム」についても紹介しています。

はじめから読んでいく、好きなところだけ読むなど、利用方法はみなさんの自由です。この小冊子がみなさんの大学生活の手助けになれば幸いです。

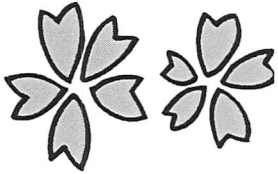
2013年4月

甲南大学経済学会  
評議員編集委員一同



経済学部へ

ようこそ



## 甲南大学経済学部 新入生のみなさんへ

経済学部長 高 龍秀

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんを心より歓迎します。新入生になってみなさんは多くの夢と希望を持っていることと思います。大学に入ってその夢や希望をもっとふくらましてほしいと思います。

大学に入って、まず、世の中で起こっていることに関心を持ってほしいと思います。日本では 2011 年に大震災と原発事故があり、その後もなかなかデフレ・不況から抜け出せない状況にあります。2012 年末に政権交代があり、日本経済をより良くするための政策がいろいろと議論され実行されています。どのような経済政策を行えばこのデフレを克服することができるのでしょうか。みなさんが就職活動をする頃には日本の景気は良くなっているのでしょうか。世の中を見渡せば、このような複雑な問題がいっぱいあります。それは仕方ありません。私たちの住んでいる現代社会がとても複雑だからです。

みなさんが入った経済学部ではこの複雑な現代社会について、入門的な課題から 1 歩ずつ学んでいきます。皆さんの勉強の対象となる現代の経済は複雑ですから、「答えを簡単に求めないでじっくり考えること」ことが大切です。甲南大学経済学部のカリキュラムでは、みなさんの学びを支えるいくつかの特長があります。まず第 1 は、「6つの科目群（グループ）」において基礎から中級・上級へとステップ・アップできる専門科目を設けていることです。経済学部の専門科目は、理論・情報、財政・金融、公共経済、国際経済、産業・企業、歴史・思想という「6つの科目群（グループ）」に分かれており、みなさんがそれぞれの科目群において、基礎から中級・上級へとステップ・アップできる科目メニューを設けています。みなさんは自分の興味や深めたい分野に応じて、経済について体系的に勉強することができるようになるでしょう。

これまでの大学受験は、「1つの決められた答えにいかに早くたどり着くか」という勉強スタイルだったと思います。例えば社会系の科目では「覚える」科目が多かったと思います。しかし最初に述べた現代経済の問題では、答えは決まっていないものも多くあります。また、答えが1つでないものもあります。ですから大学では、基本的な事実を「覚える勉強」とともに、その知識を武器により複雑な現象を論理的に「深く考えていく勉強」をしなければなりません。また実際の社会では1人で考えるのではなく、仲間と意見交換して1つの解決策を深めてまとめていくことや、その解決策を他の人に説明し説得する能力が必要になります。経済学部のカリキュラムの第2の特徴は、小人数の学生参加型の「ゼミ」を4年間通じて履修できることです。みなさんは4年間ゼミで学ぶことで「グループで深く考える能力」や自分たちの意見を他の人に説明するプレゼンテーション能力を高めることができます。

みなさんが入学した直後から始まる「基礎ゼミⅠ」では、各クラスを経済学部スタッフが、毎週、輪番（ローテーション）で担当します。みなさんは入学直後から多くの経済学部教員と顔見知りになり、身近に接することができ、さまざまな知的刺激を受けることになると思います。1年後期には「基礎ゼミⅡ」が開講され、2年後期からの「ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ」では、みなさんは卒業まで同じ経済学部教員の指導のもとで、自らの興味や関心のある専門分野について深く学ぶこととなります。多くのゼミでは、毎年12月に開催されるインナーゼミナール大会（ゼミ対抗の研究プレゼン・討論会）に向けて、学生たちが意欲的に、熱気をみなぎらせて研究に取り組んでいます。このインナーゼミナール大会（通称「インゼミ」）は、経済学部最大の伝統的行事であり、昨年度まで42年間開催されています。

みなさんはこれから経済学部で、経済について体系的に学び、「グループで深く考えていく」能力、自分たちの意見をプレゼンテーションする能力を高めていくことになると思います。経済学部のすべての教員はみなさんのこの学びをしっかりサポートするつもりです。新入生のみなさんが甲南大学経済学部で有意義な4年間を過ごし、大きく成長することを心から願っています。

## 新入生の皆さんへのメッセージ

青木 浩治

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはどのような抱負を持って入学されましたか？あれもこれもとやりたいこと一杯の人から、まだ何も決めていない人まで様々でしょう。しかし、まずやるべきことは友達作り。この作業に失敗すると、大学 4 年間はつまらない時間となり、その場合、大学生活不適應者に陥ってしまうと言っても過言ではありません。

第二に強調したいことは、大学 4 年間はあっという間に過ぎてしまうということです。このことはみなさんの先輩が異口同音に言っていること。言い換えれば、大学生活はとても楽しく、おそらく人生において最も有意義な期間だということです。そのための仕掛けが大学にはあちこちに用意されています。なにもせずボーっと 4 年間を過ごした人は社会に入る手前でイエロー・カード、場合によってはレッド・カードが突き付けられます（その意味はやがて分かってきます）。意識して「大学でこんなことした、あんなことした」と胸を張って言えることを見つけて下さい。ただし、アルバイトはほどほどに・・・。

第三に、当然のことなのですが、自分の規律付けを怠らないようにしましょう。これまで親や先生の言われる通りしていればよかった時期はもうおしまい。大学では所定単位の修得以外に学生に課される制約は特にありません。その意味で自由なのですが、同時に選択の結果に対する責任を強く要求されます。自由には責任がついて回ることを意識しましょう。その訓練をする場が大学生活です。そして第四に、社会常識を付けること。犯罪行為は論外として、やってよいこととそうでないことのケジメを付けるようにしましょう（喫煙マナーがその一例）。

いずれにせよ、皆さんの 4 年間が有意義であることを切に願っています。



## 宝物の集め方

石川 路子

皆さんにとって、宝物は何ですか？「小さい頃、サンタさんからもらったぬいぐるみ」「彼氏からもらったネックレス」「楽しく過ごした友人たち」心に残る宝物はいろいろあるかもしれませんね。もちろん、大学生活の中でもたくさんの「宝物」は落ちています。ただその宝物を見つけられるかは、皆さん次第。その宝物の中でも、私は皆さんに「他人の気持ちを理解する心」という宝物をぜひ見つけてほしいと思います。

経済学では、社会を分析するツールを学んでいきます。人々によって構成されるのが社会。すなわち経済では、人々がどんな行動をするのか、それによって社会がどう動くのかを分析していきます。このように考えると、実は「他人の気持ちを理解する心」は、経済学の基礎として非常に重要。人の気持ちがわかっていないと、世の中の動きは読めません。セレクトショップを成功させるためのキーワードは「自分の好きなものを売る」のではなく「他人が欲しがるものを売る」こと。相手の気持ちを知ることは、ビジネスにも欠かせないキーワードなのです。

では「人の気持ちを理解する」には経済学だけで十分でしょうか。もちろんそうではないですよ。ではどうすればいいのでしょうか。それは、より多くの人と話すこと。大学には、国内外を含め様々な地域から学生さんが集まってきます。自分とは違う国や地域の友だちと話すだけで、自分の視野が広がります。また先輩、後輩など学年が一つ違うだけで、まったく違う考え方の持ち主に出会えるかもしれません。さらに、先生やバイト先の社員さんなど、自分とは年代や立場の異なる人はまた新たな考え方を教えてくれるでしょう。

自分とは異なる考え方の持ち主は、本当に宝物です。宝物を一つずつ集めるように、違った考え方に触れてみてください。きっとそれらは「他人の気持ちを理解する心」というより大きな宝物になるはず。皆さんがこれからの大学生活の中でより多くの宝物を手に入れて、心豊かな人生が送れますように。

## 新入生の皆さんへ

石田 功

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

私も甲南大学経済学部に着任したばかりですが、甲南大学卒業生でもあり、数十年ぶりに通うキャンパスには感慨深いものがあります。忘れていた4年間の大学生活の記憶が蘇ります。

振り返れば、私は大学1・2年生の頃は勉強ばかりしていました。といっても大学での履修科目ではなく、例えば数学です。経営学部に入學したものの、子供の頃からの物理学への興味が捨てきれず、転学部もしばらく考えていたからです。その後、経済学オタクになるのですが、まわりの大人たちからは「経済学なんて社会に出でから役に立たないよ」と否定的な言葉ばかり浴びせられました。「経済学を勉強しただけでうまくいくほど社会は甘くない」と言いたかったのでしょうか（もちろん、経済学の知識や思考法は何をするにしても役立つと断言できます！）。3・4年生の頃は、バイトや遊びばかりの生活に極端にぶれ、専攻の経営学はほとんど勉強せず、そのせいだけでもないでしょうが就活は苦戦。その後、長い回り道はしましたが、自分がやりがいを感じることができる金融市場アナリストの仕事に就け、充足感は大きかったです。学生時代に勉強した数学も大いに役に立ちました。しかし、この道で世界標準のプロフェッショナルになりたいという気持ちが高まり（これも『甲南スピリッツ』の一つ？）、大学院で計量経済学や金融工学を学び直しました。

このような私自身の経験から皆さんに伝えたいことがいくつかあります。人生短いです。だから、回り道はほどほどに、早く心からやりたい仕事を見つけ、フェアウェイを邁進してほしいというのが一つ。もし、皆さんが経済学理論や実際の経済分析に深い興味を持ったなら、金融機関でのエコノミストをはじめ経済分析のプロというキャリアがあることも知っておいてほしいというのが二つ目（ただし、プロを目指すのであればそれなりの計画と努力が必要。出来れば、1・2年のうちから）。人は皆さん個々のことをよくは知らず、自分自身の経験・立場に限定された視野から、平

均的（または特定の）甲南生を想定したアドバイスをしがちなので、将来の進路については、特定の意見は鵜呑みにせず、多くの意見や皆さん自身の直感の声に耳を傾けてほしいというのが三つ目。ただし、このアドバイス自体も、私個人の経験のバイアスがあるかも（笑）。とにかく、有意義な4年間を過ごして下さい。

## 僕らはどんどんダメになる？

市野 泰和

2006年12月12日、読売新聞から配信された記事をちょっとだけ引用します。

「各地の公立図書館で、雑誌などから写真や記事を切り取ったり、専門書に蛍光ペンで線を引いたりするなど、図書を傷つける行為が増加している。(中略)公共の財産を傷つけてはいけないという最低限のルールを破る行為の横行に、図書館側は『社会全体のモラル低下の表れでは』とため息をついている。」

この記事で図書館の人たちが嘆くように、社会全体のモラルは、低下してきているのでしょうか。時代が進むほど、人々のモラルは低くなるのでしょうか。って、そうだとすると、昔の人は、今よりもずっと徳が高かったということなのかな？縄文時代の人とか。土器？どんどんあげちゃうよ、いくらでも持ってっちゃっていいよ、なんてね。まあ、縄文時代の話はさておき、僕らは、どんどんダメな人になっていっているのでしょうか。そうなら、それはとても悲しいことですよ？

なので、ここはひとつ、そうじゃないかも、と考えてみましょう。社会全体のモラルはまったく低下していない、と想定してみましょう。それで、「図書を傷つける行為が増加している」という現象を説明することはできないでしょうか。

例えばこんなの。「公共の財産を傷つけてはいけないというルール」を守れない人は、残念ながら、いつの時代も人口の一定割合はいます。もしかしたら、最近の図書館は、昔の図書館よりも、そういう人々を図書館に來さしてしまうようなものになってしまっているのかもしれない。あるいは、図書館に來る人々のタイプは昔と同じとしても、最近の図書館では、昔の図書館よりも、「公共の財産を傷つけてはいけないというルール」を守らせるようなしくみが、うまく機能していないのかもしれない。つまり、変わったのは人々のモラルではなく図書館だったとしても、「図書を傷つける行為が増加している」という現象は説明可能なのです。

人々の性質が変わったから、という理由で、人々の行動が変わったことを説明するのは、とにかく簡単です。そんなの、いつでもできます。だからこそ、そういう説明は、できる限りしないでおきたいのです。最後の手段にとっておきたいのです。人々の性質ではなく、人々を取り囲むもの、環境で、何か変わったものはないかを考えてみましょう。それで、人々の行動の変化を説明できないでしょうか。正しいか間違っているかはさておき、つねに、人の内側ではなく、人の外側に、行動の変化の理由を求めること。これが、経済学の基本的な態度です。

## 君は外国人と競争できるか

稲田 義久

日本企業は、超円高や人口減少に伴う国内市場の縮小等を背景に、積極的な海外市場展開を図っている。グローバルな事業の強化に際し、国際的なビジネスに対応できる人材をいかに育成・確保するかが、経営上の重要課題の一つとなっている。今手元にアジア太平洋研究所が最近実施した『高度外国人材の活用による活性化』というタイトルの調査報告がある。

関西において外国人留学生や外国人労働者が活躍できる場を広げることが、企業や地域の活性化につながるのではないかとの観点から、関西地域の高度外国人材（留学生）の関西への呼び込みに焦点を当て、企業と留学生の双方へのアンケートを同時に実施した。アンケートの目的は、留学生の関西企業への就職に関する課題を明らかにし、それを解消していくための具体的な提言を行っていくことにある。このように、留学生と企業の双方に対し同時にアンケートを実施するのはこの研究が初めてである。

アンケート調査から多くの興味のある結果が見てとれるが、おもしろい結果をひとつ紹介しよう。それは日本での就業希望年限について聞いたところ、企業側は外国人材に長く働いてもらいたいと考えている一方、留学生側は日本で就職して短期間で働きたいと考えており、ミスマッチが明らかになっている。留学生にとって、日本企業での就職はキャリアパスの中の1つのステージと捉えており、自らの能力を十分に発揮することができない企業であれば、転職もいとわないわけである。

日本人は出来るだけその企業で長く働きたい、つまり就職ではなく就社する感覚であるが、留学生ははっきりと就職を考えている。だからこそ、自分の将来の能力が変化していくなか、何十年先も自分が同じ企業で働き続けるという姿をイメージしにくいのであろう。君はこのような外国人と競争していけるか？

## 身近な現象からの経済学入門

岩崎 晃

経済学部に入學されたばかりの皆さんは、経済学という学問を分かりにくく感じているかもしれませんね。とりわけ「ミクロ経済学入門」や「マクロ経済学入門」といった理論の講義では、理論モデルの単純明快さと実際の経済のかかわりに疑問をおもちかもしれません。

もう大昔のことなので正確に出所を思い出せないのですが、学部学生のころに読んだある歴史家の論文の一節に、“Economists play with blocks”という経済学者の悪口がありました。本来なら多種多様な要因を考慮しなければいけない経済分析としては、当時のミクロ経済学の分析方法はあまりに単純で、歴史家にとっては経済学者はオモチャのような理論で実際の経済を分析しようとしていると思えたのでしょう。現在の皆さんも、もしかしたら、この歴史家と同じ印象を受けているかもしれませんね。

ただ、私たちの周りには比較的簡単な経済の絡んだ問題がたくさんちらばっています。実際、皆さん自身の行動そのものが、日本の経済の微小な一部を形成しています。身の回りを経済学の手で見るようにすれば、経済学のパワーと魅力を感じ取れるのではないのでしょうか。

私の実家は農家でしたが、一時期、キャベツの栽培に熱を上げていました。子供の私も苗の植え付けから出荷にいたる色々な作業を受け持ったものです。高校生の頃から運転免許をもっていたのはそのためです。キャベツは値動きが激しく、当時でも卸値でキロ当たり70円もの値がつくときもあれば、1円もしないときもありました。悪天候などで極端な高値がつくと、次のシーズンは供給過多で暴落する傾向がありましたから、小規模な野菜農家としては用心してキャベツの栽培を減らし、別の作物も栽培しておくといった、リスク回避をしたものでした。

もっとも平均的に見て、より低価格でも採算のあう栽培方法を編み出すことも大切ですし、「あの人の作物なら」と青果市場で高値がつくようなものを出荷することも大切です。だれにでもできることではありませんが、それだけに高い報酬が期待されるわけなのです。

## Nothing ventured, nothing gained.

(思い切って何かをしなければ、何も得られない。)

上島 康弘

通勤の車窓から海を眺めると、オーストラリアでの日々が心に浮かぶ。2011年の9月から一年間、シドニー大学に留学した。到着後、大学近くの宿舎に入り荷物をほどくと、突然、不安障害におそわれた。ここで一人きりで暮らせるだろうかと思うと鼓動が高鳴り、「明日、荷物をまとめて帰ろう」とつぶやいた。数日間、「明日帰ろう」と口に出して気持ちを抑えた。

不安はそのうちに消えた。スチュアート（学科長）は、毎日のようにランチに誘ってくれた。同僚のビルやジル、ダミアンも誘って、ジョークをまじえて移民や炭素税の問題、大学改革などについて話した。油断すると、突然「ヤスはどう思う？」と聞くのでハラハラした。英語をとつとつと話す私は、『千と千尋の神隠し』の「カオナシ」のようだった。にもかかわらず、みんなが仲間に入れてくれた。

意外なほど、同僚の親切に恵まれた。スーザンといっしょに、入植時代の歴史が学べる“ロックス・ゴースト・ツアー”に参加した。マイクは生後、数週間の娘フランキーを研究室に連れてきた。スヤスヤと眠る赤ちゃんの背中を撫ぜると、神聖な気持ちになった。フランクは、国立公園の近くの別荘に招待してくれた。雨のなかを傘もささずに、私をブッシュ・ウォークに連れだした。木々のしたで、葉に水滴を乗せたシダが生き生きしていた。

帰国する日に、クージー・ビーチに行った。どうしても一度、オーストラリアの海で泳ぎたかった。思った以上に波が荒くて、水着が脱げそうになった。ビーチに寝そべり全身に陽を浴びると自由を感じた。その後、サーキュラー・キーで思い出にシドニーの絵を買った。オペラ・ハウスやハーバー・ブリッジの写真を撮った。時間の許すかぎり、シドニー湾の夜景を眺めた。空港では帰りたくなくて、大泣きするかもしれないと思った。

航空機が離陸すると、思わず「ありがとう、シドニー」と口から出た。機内食で「鮭の塩焼き」が出ると、自然にほほ笑んだ。シドニーではたくさんの友人ができた。自分のパーソナリティと能力に、少しだけ自信がもてた。『千と千尋…』の歌詞のように、いまは、輝くものを心のなかに見つけることができる。



## 「経済を学ぶ」ということ

永廣 顕

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

みなさんはこれから4年間、経済について学んでいくこととなりますが、そもそも経済とはいったい何なのでしょう。

私たち人間（ヒト）は、生きていくために必要な財やサービス（モノ）をつくらなければなりません。現代では、家計つまり個人が企業に労働や土地を提供し、企業がモノを生産しています。家計は企業から受け取った賃金など（カネ）でモノを購入して消費し、人間の日々の生活が営まれています。この状況を「市場経済の成立」と言いますが、市場経済は常にうまく機能するわけではなく、程度の差こそあれ混乱が生じる場合があります。そこで、政府が家計と企業をまとめて市場経済を統治しています（この政府の活動を“財政”と呼びます）。このように、経済とは人間が生きていくための活動であり、それをめぐる家計・企業・政府の相互関係にもとづいたヒト・カネ・モノの動きなのです。すなわち、私たち人間の生活の営みそのものであるのです。

したがって、「経済を学ぶ」ことは「生き方を考える」ことにつながると言ってもよく、「生き方を考える」ためには経済について幅広くしっかりと勉強しておくことが必要となるのです。それは、これまでの受験勉強のように正解とされていることを暗記するだけでなく、世の中で自分が置かれている現在の状況と自分が進もうとする将来の目標に即して、自分にとって何が正解であるのかを追究し続けるということなのです。

もちろん、大学生活においては、勉強がすべてではなく、クラブ・サークル活動やアルバイト、ボランティア活動やインターンシップ、さらには就職活動なども重要であることは言うまでもありません。これらの活動から学ぶことがたくさんあるのも事実です。しかし、経済について体系的でかつ内容の深い勉強をする機会を大学以外で得ることは難しいでしょう。自分の興味や問題関心から専門的な勉強を思う存分できるのは大学での4年間しかないのです。しかも、その4年間はあっという間に過ぎてしまうのです。

大学生活のスタートラインに立ったみなさんが、これから有意義な4年間を過ごせることを心から願っています。

## 学生生活の最終段階に達したみなさんへ

岡田 元浩

甲南大学経済学部入学おめでとうございます。さて、おそらくみなさんの大半にとって「甲南大学経済学部卒業」が最終学歴になることでしょう。つまり、甲南大学での学生生活を完了すれば、みなさんは社会人として巣立っていくということです。ひとたび社会人としての生活が始まれば、みなさんを待ち受けているのは、俗に世間の荒波と呼ばれる厳しい現実です。社会人になったからといって、ご家族をはじめ、それまで皆さんを守り育ててきた人々の支えがいきなり断ち切られるわけではありません。しかし遅かれ早かれみなさんは、矛盾や悲痛、その他あらゆる困難に満ちた世の中を自らの力によって生き抜かねばならぬこととなります。だからといって、私たちが自分1人の力だけで生きることは不可能です。そこで肝腎なのは、強い自立心と正しい認識に立つ他者との協同精神です。甲南大学での学生生活でみなさんに身につけてほしいと思うもの、というよりも身につけるべきものは、つまるところ以上の点に尽きる、というのが私の思いであり、この観点から実際にみなさんと接するよう努めています。私がかこう記すと、社会人としての準備が大事だというのであれば、何より就職だ、学業より就職準備優先で1年生時から臨むべきだ、と解釈する人がいるかもしれません。しかし、それはあたかも、もろい土台の上に家を築くようなもので、一時的にはうまくいっても、やがてはくじかれる破目になるでしょう。就職を含むみなさんの将来のためにも、まずは日々の学業を地道に修め、さらには課外活動をはじめ大学時代ならではの体験に打ち込んでください。

## 講義の単価？—エレガントな答案を求む—

奥田 敬

### 【設問】

大学における1コマ90分の講義の(学生にとっての)単価を算出せよ。  
ただし、単純化のため、4年間の学費総額は教科書代も含めて400万円とし、その間の生活費や、働いていれば得られた収入は度外視する。

### 【解法1】

全く無駄なく、最小費用最大便益(?)で卒業を目指す。  
卒業所要単位数は128単位であるから、  
1単位あたりの単価は、 $4,000,000 \div 128 = 31,250$ (円)  
半期15週で2単位なので、  
 $31,250 \times 2 \div 15 = 4,166.66\dots$

答え 約4,200円

### 【解法2】

もったいないから(単位制限とは関係なく)聴講しまくる。  
1週間30コマならば通年で  
 $30 \times 15 \times 2 = 900$ (コマ)だから、  
 $4,000,000 \div (900 \times 4) = 1,111.11\dots$

答え 約1,100円

### 【解法3】

4年分の在籍料と割り切り、出席は(留年も)気にしない。  
1日あたりの在籍料は、  
 $4,000,000 \div (365 \times 4) = 2,739.72\dots$ (円)  
90分あたりに換算すると、  
 $4,000,000 \div (365 \times 4) \div 24 \times 1.5 = 171.23\dots$

答え 約170円

(さて、あなたはどれを選びますか？ 別解があればお知らせください。)

## 「常識」を疑ってみよう

春日 数測

私が高校生の頃を振り返ってみると、教科書はほぼ正しいもので、特に疑うこともなく文章や数式を理解し、また史実や言語を暗記し忠実に再現することが、学校での主要な課題だったような気がします。でも注意してみると、実際の世の中には不思議な記述や「常識」と異なる現象が多いことに気がつきます。

例えばサッカーの試合で「エースストライカーが点を入れた試合は負けない」という『神話』が紹介されることがあります。ですが、誰の得点であれサッカーの試合での1点は非常に大きい意味を持ちますから、その時点で既に1点獲得しているチームの勝率が高くなるのは、それほど不思議なことではないのではないのでしょうか。またある医療ドラマでは、急患死亡率0%の病院Aと50%の病院Bあり、実際にその病院を知る患者が信頼しているのは病院Bだという事例が描かれていました。一見すると不思議な現象ですが、実は病院Bではどんな患者でも最後まで救命に尽力する姿勢なのに対し、病院Aでは重症度が高く死亡率の高そうな患者の受け入れを徹底的に拒否しているためだという内容を見て、視聴者は納得することになります。大人気漫画ワンピースでは、時に「行き過ぎた正義」を行使する赤犬元帥率いる海軍と、破天荒ですが世間のしがらみにとらわれず自分の感情に素直に行動するルフィ率いる「善良な」海賊団が描かれていますが、こうした「常識」とのギャップも、大きな魅力の一つになっていると言えるでしょう。

経済学に代表される社会科学を学ぶ者として、このような「常識」を疑う目を持ち、常にいろいろな解釈や別の捉え方を考えてみるのが、最も大切なことだと個人的には考えています。いわゆる「ツッコミの文化」を有する関西圏で生活する我々は、経済学、ひいては社会科学全般に携わるのに向いているのかもしれないですね。皆さんも、周囲の出来事に絶えずツッコミを入れる習慣を、是非身につけてください。ただやりすぎると疎まれるので、くれぐれも周囲の空気を読むことを忘れずに！

## 「講義もかんたんではありません」

草野 正裕

甲南大学経済学部での入門的経済学の講義は、現在「入門ミクロ経済学」、「入門マクロ経済学」と呼んでいます。教科書は一冊で伊藤元重『入門経済学』（日本評論社）をずいぶん長い間使っています。私もこの講義をこの教科書で10年ぐらやってきて、いくつか印象に残っていることがあります。今回はそのひとつを書いてみます。

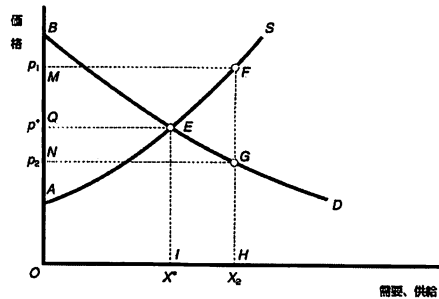


図 16-5 米価問題の分析

この教科書の第2版(現在使っているのは第3版です)、347ページに図16-5米価問題の分析というのがあります。ここに掲げているのはそのコピーです。経済学的な背景は省きますが、伊藤元重先生はいきなり、 $AFM + BGN - NGFM = BEA - EFG \dots \textcircled{1}$ であると書かれています。ここでAFMとかBGNとかいうのは図形の面積を表しています。皆さんもどうしてこうなるのかいちど二、三十分考えてみてください。

私はどうしてこんなことが言えるのかわからなかったもので、積分計算にもちこみました。曲線BDを  $f(x)$ 、曲線ASを  $g(x)$  などにおいて、定積分の上端、下端には、 $0$ 、 $x_2$  を使って抽象的関数のままで、 $\textcircled{1}$ の左辺の定積分を計算します。同様にして右辺も計算します。こうやって左辺と右辺が等しいことが証明できます。積分をご存じの方はいちどやってみてください。「インテグラル……」とかいいながら黒板に数式を書いていたら(私はポスドクの時代に神戸の某中堅予備校で何年も理系の受験数学を教えていたのです)、「かつこい」と声を上げる学生がいました。私はこんなに大上段に構えてかつこわるいと思っていたのですが。

何年かたったとき、たまたま大家のもうだいぶ前に退職されたS先生と話をしていたら、先生が「あそこはどうしてあんなのかわかりませんかあ」とおっしゃったのです。心底ほっとしたのを覚えています。それで上のような積分計算の方法をご説明申し上げました。S先生は、「積分ですか」とおっしゃっただけでした。

かくして何年か定積分を書いていたのですが、ある年、うまい方法を見つけま

した。それは『力の算数』か中学数学みたいに、図形の各断片(パーツ)に、 $S_1$ 、 $S_2$ 、 $S_3$ ・・・のように名前をつけて、かんたんな代数的計算をする方法です。あっという間に証明できました。ためしにこれもいちどやってみてください。それまで過去何年か講義で積分計算をお見せしたのが恥ずかしくなりました。もっともこの代数的方法では「かっこいい」という声はかかりませんでした。

## 経済学部で学び、経済学部で教える

小林 均

大学は経済学部で、大学院も経済学研究科でした。なぜ経済学部へ進学したか、と言えば、「経済がすべての基本という考え方」がおぼろげにあったと思います。それは、小学校の頃、高度成長が始まり、高校1年の年、東京でオリンピックが開催され、それ以前の生活との違いを体感していた、からと思います。高校に進学し、「政経」「倫理社会」の授業で、「経済学」の言葉の意味を知ったことも、重要な要因と考えます。「経世済民」「経国済民」、すなわち、「世の中を治め、人民の苦しみ救う」、「国を經營し(治め)、人民の苦しみ救う」に魅力を感じたからです。皆さんは、経済学部に入學し、マクロ経済学、ミクロ経済学を学びますが、経済学の歴史や私の大学時代を振り返ると、いまでは一般的な「マクロ」「ミクロ」という表現も、経済学部の学生時代は、まだポピュラーではなかったです。マクロ経済は、所得分析とか、国民所得分析、巨視的経済学、ミクロ経済学は価格理論、価格分析、微視的経済学、と呼ばれ、2009年暮れ逝った、サミュエルソンの「経済学」が双方を扱う、入門的な必須な教科書とされていました。授業では、マクロ経済学の経済成長論が主流で、高度成長とその原因・帰結・代償(公害)を論じる日本経済論が盛んで、資源配分を論じるミクロ経済、厚生経済学、経済政策論はやや後ろに控え、その後の隆盛を待っている時代でした。3年からの専門ゼミは財政の先生で、ゼミではエドウィンキャナン版の「国富論」を読みました。卒論は「社会と個人」というテーマを先生に伝えたところ、結果的に「道徳情操論」を読んでいました。

改めて、経済学とは何か、と問われれば、「多くの人が幸せになること、そのための制度は何か、を考える学問」というふうに捉えています。経済全体の動きを理解することはもとより、「効率性」と「公平性」という判断基準、「費用」と「便益」との関係、といった基本的な視点から、物事を考察する常識的な学問で、この常識に基づいて判断すれば、それほど誤った結果にならないし、この常識で対応できない対象は、別の判断のための道具を準備すればよいと考えています。

## 『経済学の学び方 "As you like it"』

小山 直樹

経済学という学問は、理論(theory)、政策(policy)、歴史(history)の三本柱から成り立っています。理論分野では、経済についてとことん論理的に考えます。政策分野では、経済問題を解決するための手段としての政策を考察します。また、歴史分野では、これまで人類が経験した経済現象や経済体制について実証的な視点から考察し、それぞれの時代に生きた経済学者がその時代の経済について考察した結果を学びます。

私が担当する統計入門は、すべての1年次生が必ず履修する科目です。統計学は、経済学の分野では、経済現象の実態を数量的に把握するための方法として、昔から重視されてきました。経済学の理論・政策・歴史のどの分野においても、統計データを通して経済の実態を把握することが基礎になっています。だから、経済学を学ぶ学生諸君は、最低限、統計学の基礎を履修する必要があります(ただし、経済学部の「学部教育アンケート」において、とても難しい授業と評価されています)。

とは言うものの、私たち教える側(供給サイド)が用意したお仕着せメニュー通りに経済学を学ぶのも結構ですが、学生の側が、何をどう学んでいくかの選択権をもっていることをお忘れなく。つまり、学生のみなさんが、「自分はなぜ経済学を学ぶのか」、「実際に授業に出て学んだ甲斐があったか」を何度でも考えて、『自分にとっての経済学を学ぶ意義』を確認することが一番大切です。そして、卒業するときに、「自分が学んだ経済学はこういうものだ」と振り返ることができれば上出来と言えるでしょう。

最後に、せっかく甲南大学経済学部に入學したのですから、キャンパスライフを十分に楽しんでください。



## 新書をバッグに入れて

杉村 芳美

みなさんには読書の習慣がありますか。ある新聞社の調査によると、「1ヶ月に何冊本を読みますか」という問いに、「読まない」と答える人の割合が、50%を超えるようになっています。この割合をみなさんは高いと思いますか、それとも低いと感じますか。

私も、ゼミがスタートするときに、学生たちに同じ質問をしています。残念ながら、「読まない」という答えの割合は、うへの数字よりもかなり高くなっています。本を読む習慣がないと答えた学生に「いつごろから読まなくなった？」と尋ねると、「中学生くらいから」などの答えが返ってきます。なかには、「生まれつき」という人もいました（子どもの頃に、絵本を読んでもらったことを思い出そう!）。「なぜ読まなくなったのか」を尋ねると、「部活が忙しくなって」とか、「ほかにやることがあるから」などの理由があがります。

「大学生なんだから本を読むのは当然」といった野暮な言い方をするつもりはありません。「読書では時間と空間をこえてさまざまな英知と出会うことができるか、自ら考え想像し思いをめぐらす時間をもてる」といった効能を言うつもりもありません。

最も伝えたいのは、生活のなかで読書の楽しみをもたないのはもったいないということです。こう言うと、ほかに楽しいことはいくらでもありますという答えがすぐに返ってきそうです。しかし、とにかく読んでみてごらん面白いから、とだけ言っておきます。

読書を楽しいものにするコツは、ただ一つ。面白い本を読むことです。手始めに、本屋にならんでいる膨大な「新書」のなかから一冊を選んでみてください。きっと自分の関心や興味に引っかかってくる面白い本があるはずです。将来の進路を考えるうえでヒントになる本もあると思います。

バッグにはいつも新書が入っている、そんな習慣をつくってください。

## 「環境経済学への招待」

柘植 隆宏

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。ここでは、自己紹介を兼ねて、私の専門分野である環境経済学についてご紹介します。

環境経済学とは、その名の通り、環境問題を経済学の観点から考える分野です。これからみなさんが勉強される経済学の分析手法を使って、環境問題の原因を探ったり、有効な対策を考えたりします。

経済活動と環境問題は密接に関連しています。私たちは、モノを作るための原材料（例えば石油など）を環境からとってきます。そして、それを使ってモノを作り、消費します。しかし、生産の過程では工場から排煙や排水を出しますし、流通の過程では、運搬用の自動車から排気ガスを出します。消費した後には、廃棄物を環境に排出します。つまり、私たちが行っている経済活動が、資源の枯渇、環境汚染、廃棄物の発生といった環境問題の原因となっているのです。

これまでの経済学よりも分析対象を少し広げて、経済活動を行うために必要となる資源の利用や、経済活動に伴う汚染物質などの排出まで含めて考えるのが、環境経済学です。

経済活動と環境の関係を理解することで、どのようにすれば環境問題の発生を抑えることができるかについても考えることができます。例えば、汚染物質の排出に対して罰金を科したり、汚染物質の排出を減らすための対策に対して補助金を出したりすることなどが考えられます。汚染物質を排出している工場は、汚染物質を出すことでお金を払わなければならないったり、汚染物質を出さないようにすることでお金がもらえるようになったりしますので、なるべく汚染物質を出さない努力をしましょう。このように、経済学の発想を使うと有効な対策を提案できる場合があります。

残念なことに、環境問題はますます多様化し、深刻化しています。また、学問としての環境経済学はとても新しい分野です。環境経済学には、未解決の問題がたくさんあります。みなさん、ぜひ一緒に環境経済学を勉強しましょう。

## 解脱／解説

てらお たける  
寺尾 建

2013年4月、甲南大学経済学部に入学者Xさんは、神戸市東灘区で生まれ育った人です。文字通り地元の大学に通うことになったわけです。

入学してから少しの間は、どの建物のどの階のどの教室でどの講義が行われるのかについて、「その時刻になったら、考えなくても身体が勝手にその教室に向かう」というわけにはいきません（ですが、一カ月も経てば、ほとんどの人がそうなります。なので、安心してくださいね）。

ほどなく、Xさんのことを“Yちゃん”のようなニックネームで呼ぶ人も出てくるでしょうが、いずれにせよ、Xさんは、教室にいるときは、ただのXさんです。

Xさんは、教室を出ると——「経済学部のXさん」になります。  
Xさんは、大学を出ると——「甲南大学のXさん」になります。  
Xさんは、東灘区を出ると——「東灘区のXさん」になります。  
Xさんは、神戸市を出ると——「神戸市のXさん」になります。  
Xさんは、兵庫県を出ると——「兵庫県のXさん」になります。  
Xさんは、日本を出ると——「日本のXさん」になります。  
Xさんは、アジアを出ると——「アジアのXさん」になります。

このように、“外”に出ることによって「〇〇のXさん」の「〇〇」がいろいろと変わるのは、“外”に出るたびに、そこでつながる人がいろいろと変わるからです。仏教では、このことを、「六道輪廻」から離れるという意味で「解脱」といいます——という話を、一昨年、あるインド人から教えてもらいました。

いまから4年後の2017年3月、Xさんは、甲南大学経済学部を卒業します。大学を出ることになるので、そのとき、Xさんは、「甲南大学のXさん」になります。

甲南大学を創設した平生夙三郎先生は、「世界に通用する紳士・淑女たれ」とおっしゃっているのですが、「世界のXさん」となるためには、世界の“外”に出るほどの「解脱」が必要になるということなのでしょうね。

## 何かに『なる=become』ということ

中島 清貴

本当に何かを実現したければ、  
眼の前にある様々な『可能性』を徹底的に切り、  
ひとつの『可能性』を突き詰めなさい。  
人でありたければ、  
切られてしまった可能性に『愛惜の念』をもっていなさい。

学部時代の恩師の言葉です。

僕は経済学者としてメシを食べています。別の職業についていたらどうなっていたかなあ、と想うことは今でもよくありますが、とにかく今は経済学者として生かされています。経済学と言っても分野は広く、ミクロ経済学、計量経済学、金融論、財政学、労働経済学、医療経済学、環境経済学、経済史、経済学史など数え上げればきりがありません。僕が経済学者として生かされているということは、とりもなおさず僕には専門分野があるということです(ちなみに、僕の専門分野は金融論と計量経済学です)。

つまり、経済学者として生かされていることと引き換えに、僕は自分の専門分野以外の分野を、好むと好まざるとに関わらず切ってしまうということになります。経済学者以外の職業の可能性を切り、専門分野に閉じこもりながらその可能性を徹底的に突き詰める努力をすることで、僕は経済学者として世間から生かされているわけです。

一方、経済学者としての可能性を突き詰めるだけで、他の可能性に対する想いや配慮がなければ、僕には『人としての大事な何か』が根本的に欠けていると言わざるをえません。この世には、経済学や自分の専門分野以外にも想いを馳せるべき様々な可能性に満ち溢れているからです。

というわけで、甲南大学では、

授業の時間内は『頑固な経済学者』として、  
授業の時間外は経済学以外の可能性に想いを馳せる  
『気の多い人間』として、

皆さんにお会い出来ることを心から楽しみにしております。

## 新入生の皆さんへ

林 健太

このたびは、甲南大学経済学部へのご入学、誠におめでとうございます。

皆さんが生まれ育ったこの 18 年の間に、世の中のあり方は大きく変わりました。具体的には、インターネットが普及したことで、コンピュータとインターネットが生活の中心となる、いわゆる「情報社会」へと突入したのです。

情報社会においては、パソコンやスマートフォンなどのデジタル機器を使いこなし、いかに早く必要な情報にたどり着けるかが勝敗を分けることになります。情報を持つ人と持たない人、あるいはデジタル機器を使いこなせる人とそうでない人との間の格差はますます広がり、特に 3 年後の就職活動の際には、顕著な差となって現れることでしょう。だからこそ大学生の間に、最低限のスキルとマナーは身につけていただきたいと思います。

また、大学時代というのは、将来どの国でどのように生きていくのかについて、じっくりと時間をかけて考えられる貴重な時期でもあります。様々な情報がインターネットを介して手に入れられるようになりましたが、それでも実体験に勝る情報収集はありません。日本は便利で清潔で快適な国です。しかしながら、その素晴らしさが、この国に住み続けていると、なかなか実感しづらいものです。ぜひ海外留学制度等を利用し、大学生活 4 年の間の半年だけでも外国の空気に触れ、海の向こうから日本を眺めてみてください。きっと新たな発見があることでしょう。もしかしたら、日本の外で暮らす方が自分には合っていると感じることもあるかもしれませんよ。

最後になりますが、人生は楽しんだもの勝ちです。先行きの見えない時代だからこそ、自分が本当に好きなことや得意なことは何かをよく見極め、一人でも多くの方が、その才能を生かせる仕事に就けることを願ってやみません。いち早く己を知ること、それこそが情報社会を生きていく上での重要なキーワードだと確信しています。

## 期待と現実の差を「謳歌」しよう

平井 健介

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大学生活を楽しみにしている人や、新しいことに取り組もうと胸を膨らませている人も多いでしょう。すでに将来像がある人、たとえば食品流通に興味のある人なら、バイトはスーパー、講義は産業経済などを考えるでしょうか。まだ将来像が見えてない人は、まずは自分の好きなことから始めるのがいいかもしれません。たとえば、私はトイレ空間が好きなので、街に出て「公衆トイレマップ」を作成し、講義は都市経済や経済の歴史などを選ぶでしょうか。

ただし、新しいことを始めた時、事前に思っていた期待と現実とは多くの場合、大きく違います。スーパーではレジ打ちばかり、トイレマップはネット上に既にある、都市経済の講義で公衆トイレの話題が出ない、など。

しかし、ここで「期待と違ったからやめよう」と思う人は、そこから成長できません。レジ打ちを通じて数字入力が快感になり、PCで数字入力、さらには図表作成に凝るようになるなど、思わぬスキルアップがあるかもしれません。都市経済の講義で都市政策の話聞いて、「都市政策にとって公衆トイレの意味は？」、経済の歴史の講義で都市化の話聞いて「当時と現在で公衆トイレの存在意義は一緒？」など思考を働かせれば、他人のものとは全く異なる、斬新なトイレマップができるかもしれません。

私達は想像以上に現実を知りません。そんな私達が膨らませた期待が現実と異なるのは当然です。「期待と違ったからやめよう」と思う人は、何をしてその連続で、4年間があつという間に終わります。期待と違う現実に愕然としつつ、歯を食いしばって、その差を「謳歌」してください。卒業する頃には、現在では全く想像できない自分がいることでしょう。

## 雑食性の学問のすすめ

藤本 建夫

私は健康と体力の維持をかねて小さな貸し農園でわずかばかりの野菜を育てている。種類は春夏野菜はトマト、きゅうり、なす、秋から春にかけては大根、たまねぎ、スナックエンドウ、昨年からはイチゴなど、定番中の定番ばかり。しかし肥料不足なのか、あるいは種まきや苗の植え付け時期が悪いのか、また世話が行き届かないために虫によく食い荒らされ、収穫は余り思わしくない。しかも同じものを作っていると連作の問題もある。しかし味のほうは、妻と二人の労働が投下された分だけ特別な、つまり主観的な付加価値がつき、うまいと納得している。それにとれとれの自然の香りは何とも言えない。

暮れから書斎の整理を始めた。というのも狭いにも関わらず、かなり適当に本を書架に詰め込み、さらに身体が不自由で高齢者に近づいているのでこの悪癖がさらに募って、今ではどこに置いたかわからなくなるケースが多くなった。それは大学の研究室でも同じである。息子夫婦が帰ってきているのを幸い、本の整理をしようということになった。捨てられる書物にはそれぞれ思い出があり、また何かに使うこともあるのではと頭をよぎることがあっても、かなりの本が廃棄の対象となった。専門のドイツ関連の書物についてはこれまでの研究と離れてしまいそうになるので、今回は決心がつかず、結局レンタル倉庫の片隅に収納されることになった。

今回本の整理をしながら、自分の研究史を振り返って見て思うのは、もっと自然の香りを出せなかったのかということである。もっと様々なことに知的貪欲さ、言わば知的雑食性が足りなかったようだ。専門という狭い畑でつつい連作を繰り返してきたようにも思う。グローバル化が急進展する現代、何もかもが複雑怪奇になるとその感がいっそう強まる。

もし今新入生に返ることができれば、今抱いている忸怩たる思いをもってスタートラインに立ちたいものである。

## 経済学部生へ

森 剛志

### 謙虚に学び、社会で起こっていることに興味を見出そう！

大学生の学力の低下が年々深刻になっている。ある国立大学工学部のある授業の試験問題で例年と変わらない問題を出したところ、4割の学生が合格点に達しなかったという。私立大学の学生1500人を調査した結果、2割の学生が「計算のとき、かけ算割り算を、足し算引き算よりも優先する」というルールを知らなかった。

「算数なんて、社会に出たら関係ないじゃないの!」「こんなもの社会で何の役に立つの?」といって、高校までに疑問を感じて学んでこなかった方はいませんか? 学問とはその利用価値を問わず、学べるものは一生懸命に学ぶようにしなければあとでひどく後悔することがしばしばあります。最近では理系出身の総理大臣や副総理も続々とでていきます。政治の世界に数学は必要ないと感じられるかもしれませんが、数学の教えてくれる論理的思考法は、経済学にも活用されていて非常に重要です。

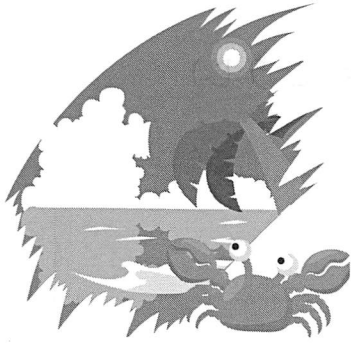
このようにえらそうなことをいう私も「統計学」や「経済理論」など大学院に入るまでまったく勉強せずにいました。でも、いまでは学生さんに教えています。

学問は学ぶのに遅いということはありませんが、早ければ早いほど容易に身につきます。ぜひ、早くから謙虚に学ぶという姿勢を身につけ、それがすでに身に付いている人は持続してください。

また、この20年間日本経済は長期の不況にありましたが、この不況はまだまだ長く続く模様です。こうした時こそ、社会で起こっている出来事をどのようにしたら解決できるか、経済学は教えてくれます。社会で起こっているさまざまな出来事を新聞や雑誌でどのように述べられているか興味を持つようになれば、あなたも立派な大学生となったと言えます。

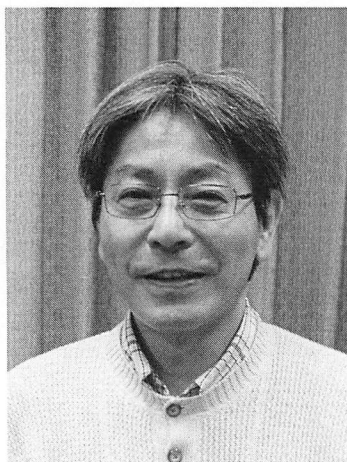
バイトもいいですが、のんびりとした何もない時間を十分つくって、読書と友人や先生との会話をして大学生活を満喫してください。





# 経済学部の 先生方に質問 (50音順)





## 青木 浩治 (あおき こうじ)

神戸大学経営学部卒業

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

難しく表現すると現代の国際貿易と海外直接投資、および為替レートの理論・実証研究です。まっ、国際経済の何でも屋さんといったところでしょうか。過去 10 年間では躍進著しい中国に的を絞った地域研究も行ってきました。ごく最近の関心は昨今の異常な円高と国際金融危機です。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

おもしろいと感じたからです。当時は現在とは逆で、経営学は全くの輸入学問。面白くなく、経済学が光り輝いていた時代でした。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

ケインズの一般理論。とても難解で、あまり頭に残っていませんが、そのうちの第 12 章「長期期待の状態」だけは非常に印象的。原書で繰り返し読みました。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

だいぶ昔の話で、老境の域に達したせいかな、どうも?? よく遊び、よく学び、よく身体を動かしたことでしょうか。ともかく楽しかったですね。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

ものすごいカルチャー・ショックでした。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

さもない話ですが、睡眠の時間かな。それと晩酌のとき。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

難しい質問ですネ。誰とは言いませんが、歴史の授業は受けたいと思っています。理屈をこねる理論や政策と異なり、歴史ってそれ自身面白いだけでなく、人間社会の深みを知ることができるように思えるからです。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

まずは仲間創り。



## 石川 路子 (いしかわ のりこ)

神戸大学工学部環境計画学科

神戸大学大学院自然科学研究科博士前期課程

大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

都市や地域の抱える様々な問題を経済学のアプローチから捉え、検証していくことが私の研究の大きなテーマです。今は医療や介護の地域格差の問題を扱っており、医療や介護の格差について経済学的に計測することを試んでいます。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

私は大学院（博士前期課程）を修了した後、しばらく都道府県や市町村の政策の立案をサポートする仕事に従事していました。そうやって政策立案に携わるうちに「政策を考えるには経済学が重要！」と思い立ち、本格的に勉強を始めました。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

宮本輝の本を読みあさった思い出があります。彼は神戸市出身ということもあり、風景の描写が地元っぽくて親近感がありました。大学生の青春を描いた作品としてお薦めなのは「青が散る」「春の夢」など。ちょっと悲しい描写も多いですが…深く心に残る作品です。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

やっぱりゼミでしょうか。理系のゼミは一学年5名程度とかなり小規模。その分、大学院生を含めて上下のつながりが本当に強かったです。常にゼミ生が集まる「ゼミ室」には、パソコンはもちろん、冷蔵庫やコンロ、簡易ベッ

ドまでが装備されていて…男子は、ほぼそこで「暮らし」てました（笑）研究はかなりハードでしたが、ゼミでの経験は、私にとって貴重な財産です。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

甲南大学に初めて来たときというか、初めて授業をした時の印象は「甲南大学生はおとなしい！」でしたね。ただ…しばらく経つと、そうでもないということがわかりましたが（笑）

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

学生さんに「この大学に来てよかった」「このゼミに入ってよかった」と言われる瞬間でしょうか。「大学教員としての責務が果たしているのか」と日々反省することも多いですが、その気持ちをほんの少し軽くしてくれるのが、学生さんからの言葉です。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

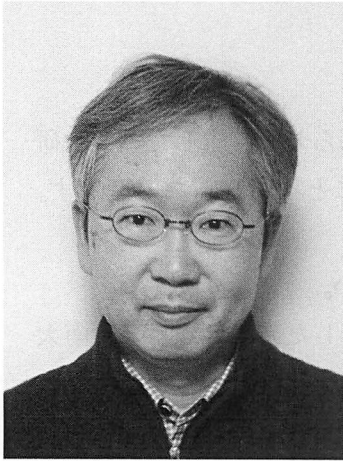
その理由もお願いします。

全員の先生が受け持っている「基礎ゼミⅠ」の授業！先生方がそれぞれご自分のご専門をわかりやすく伝えようと趣向を凝らした講義はぜったい楽しいと思います！！

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

大学生活では、ぜひ「メリハリをつける」ことを心がけてほしいと思います。

「勉強する時は、勉強する」「遊ぶ時は思いっきり遊ぶ」こんなふうになんにも全力で取り組むことで、新たな自分を発見することができると思います。みなさんがこの4年間、楽しく充実した学生生活を満喫できますように！！



## 石田 功 (いしだ いさお)

Ph.D. Program, Department of Economics,  
University of California, San Diego

金融経済学 計量ファイナンス  
計量経済学

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

株価・金利・為替レートといった金融市場データの統計分析手法の開発と実証分析です。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

大学1年のとき英語の勉強として Time 誌を購読していましたが、経済に関する記事は用語を辞書で引いても全く理解できなかったもので、まずは経済学を勉強せねばと思ったのがきっかけです。経済学部生ではなかったのほとんど独学でしたが、その面白さにはまりました。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

自分の世界観を一変させたような数冊の書物が記憶に残っていますが、すべてマニアックすぎるのでおすすめはしにくいです。ただ、大きな影響を受けた本、こんな本との出会いこそが人生の幸せだと思えるような本は大学生時代に読んだ本が大半で、かつ乱読の習慣があっはじめて巡り合えた本です。皆さんにも大学時代の多読をおすすめします。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

学園祭。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

最初の印象はおぼえていないですが、今年度赴任のため数十年ぶりにキャンパスを訪問し、記憶していた以上に雰囲気の良いキャンパスだなという印象を受けました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

金融市場データの実証分析で、面白い結果が得られたとき。もちろん、他にも些細なプライベートなことでもいろいろあります。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

誰が特に授業上手かということであれば、今年度着任したばかりなのでよくわかりません。トピック的には、経済学はミクロ・マクロのコア分野も、各応用分野もそれぞれエキサイティングですよ。経済学は私が学部生だった数十年前より格段に進歩し、多くの現実的問題を取り扱えるようになってきています。私が経済学部生に戻ることができるのであれば、経済学の授業はできる限り全部受けます。これから初めて経済学に接し、フレッシュな知的刺激を味わうことのできる皆さんが本当に羨ましいです。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

甲南大学ライフをいっしょに楽しみましょう！



## 市野 泰和 (いちの やすかず)

Ph.D. program, Department of Economics,  
University of Washington

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

国際経済学とミクロ経済学の理論を研究しています。今、取り組んでいる／取り組もうとしている研究テーマは次の3つです。

- 自由貿易から得られる利益を、実際にすべての人々に分配することはできるのか。できるとすれば、それはどんなやりかたか。
- 一国の経済厚生からではなく、世界の経済厚生から考えて、ある国が貿易保護をするほうが自由貿易よりも望ましいということはあるのか。
- 市場がうまく機能する、とはどういうことなのか。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

社会科学を学びたいと思っていました。人と人との間に起こるできごとを理解し、説明できるようになりたいくて。経済学を選んだのは、社会科学のなかでいちばん厳密そうに思えたからです。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

船戸与一『猛き箱舟』集英社文庫。

かっこよくて気恥ずかしくて悲しい成長物語。何度も何度も読みました。



4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？  
学部生のとき、演劇部に所属していて、毎日朝から晩まで稽古したこと。
5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。  
こぢんまりしているなあ、と思いました。みんな、仲よさそうだなあ、って。
6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？
- 授業をしていて、学生が、あ、なんかこれおもしろいかも、という顔をするのを見るとき。
  - 研究での、証明の着想が浮かんで、これで証明はできそうだな、という気持ちを心の中で転がしているとき。
  - 憂えることが何もなくて、親しい人たちといっしょに食べたり飲んだりしながら、話をしているとき。
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？  
その理由もお願いします。  
そんなの選べないですー。み、ん、な。
8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。  
本をたくさん読んでください。できれば、あんまりバイトはしないほうがいいと思います。



## 稲田 義久 (いなだ よしひさ)

神戸大学経済学部卒業。神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得

博士(経済学)(神戸大学)

その後、神戸学院大学、立命館大学を経て現在に至る

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

経済予測や環境問題の分析です。最近は関西の成長戦略に興味があります。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

世の中を良くする知的ツールとして経済学が役に立つと思いました。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

臼井吉見『安曇野』この本で信州が大好きになりました。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

中学・高校生の時はサッカーと演劇に多くの時間を費やしていました。それにまつわることが印象に残っています。大学に入ると、サッカーと演劇の狂騒からさめ、社会に出た場合どのようなキャリアを選ぶかに頭がいっぱいでした。後半はとてもさめて世の中を見ていました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

学生さんは性格がやさしく、おっとりしているなと感じました。とても好印象を持ちました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

自分のやっていることがたまには世の中のために役に立っていると感じる時です。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

退職されましたが小島先生の授業でした。信頼できる心からの授業だからです。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

1回生の時は大学が日々のベースとなるように心掛けてください。

まず講義に出て食堂でランチをとりまた講義に出る生活です。この生活がスムーズにいくためには友達作りが必須です。様々なタイプの友人作りに心がけてください。例えば、能力ではとてもかなわないが、自己向上には良い友達。発想がよく似ていていろいろなことを議論できるタイプ。卒業を確実にするためには、必要なタイプ等々。数は少なくともバラエティーに富んだ友人を作ってください。



## 岩崎 晃 (いわさき あきら)

京都大学大学院博士課程単位取得・満期退学

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

「産業組織」と呼ばれる分野ですが、日本の社会人の間ではあまり知られていません。某新聞社の経済担当記者さんにご存知でありませんでした。米国では anti-trust economics といえば、非常に多数の研究者が首を突っ込み、司法省や連邦取引委員会のほか、多数の司法・行政機関にも多くの専門家が配置されています。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

比較的参入障壁が低い分野だったからでしょう。高校時代に理科系分野に進もうと思っていたのが、事情があってこちらに来てしまいました。理科系好みの人間にも、結構魅力的で分かり易い分野だと思います。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

広い意味で経済に関係する書物として、安くて有意義なものとして、福沢諭吉のもの、また小説ですが、城山三郎のものに面白いものたくさんありました。『福翁自伝』や『総会屋錦城』、『鼠』『東京海上ロンドン支店』（平生 鈞三郎も登場します）、娯楽物ですが『学・経・年不問』などというものは人の心理をよく表して、読んで楽しかったですね。学生時代のものだったかしら？ なにぶん遠い過去のものだから。最近のものでは中村隆英の『昭和史（上・下）』東洋経済新報社も文庫版があるので利用しやすいですね。

4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

ちょうど日米安保条約の延長が問題になり、大学はおろか、高校でまで学園紛争が起こっている 1960 年代末が私の学生時代でした。小遣いの少ない至極素朴な育ち方をしましたから、自治会の生徒たちが教壇に上って「今日の講義は学生集会にしたい」と突然言い出したのには驚きました。若いドイツ語の先生がその勢いに押されて、「今日は休講にしよう」などと言い始めたので、「そんな馬鹿な！ 一時間もかけて登校したのだから、個人授業でいいですから、講義をしてください」と無理を言う学生さんもありました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

キャンパスが小さいけれど、木々がもっとたくさん植わっていて、なかなか雰囲気の良いところでした。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

感じるとおりに、自由に発言し、無理強いされない環境にあることですね。自由人がいいですね。vogelfrei は困るかもしれませんが・・・。

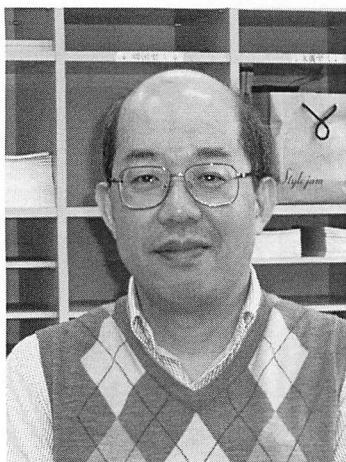
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

自分自身が比較的短いタイムスパンで考えてきたことから、却って長いタイムスパンで物事を見る歴史関係の科目を受講してみたいですね。たとえば、藤本先生の欧州経済の講義などは食指が動きますね。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

これから社会にでるまでの本当に自由で、ゆったり物事を考えることのできる時間を大切に過ごしてください。お金のためのアルバイトはほどほどにね。



## 上島 康弘 (うえしま やすひろ)

大阪大学大学院経済学研究科修了  
労働経済学

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

労働経済学。経済のしくみのなかで労働条件（給料や労働時間など）がどう決まるのかを考える分野です。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

ゼミで Solow や Tobin, Hahn の論文を読んで面白かったから。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

井上靖『氷壁』、『敦煌』、『射程』(新潮文庫)。ストーリーはもちろん、美しい文章にも感動しました。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

空き巣に入られたこと。下宿は普段と同じようすで、すぐには気づきませんでした。しかし、窓ガラスが割られていたので、警察に電話しました。警察官は下宿に入るなり、「これはヒドイ！」と声を上げました。その後ろで私は黙っていました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

学生たちが明るく礼儀正しいことに感心しました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

インゼミ（ゼミ対抗の研究発表会）が終わった後で、ゼミ生たちを書いてもらった『インゼミで学んだこと』を読むとき。「彼らはあのときこう思い、そう考えていたのか」と分かって、教員としての手ごたえを感じます。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

「ゼミ」。インゼミを経験したいから。もう一つは、自由選択科目群にある「簿記」や「商法」、「労働法」。就職したら、オールラウンドに問題を解決しないといけないから。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

- ・ 4月中に自分に合った部やサークルに入ること。
- ・ 1年次にたくさん単位を取って、2年次にゼミに入ること。
- ・ 毎日、早い時間に就寝すること。
- ・ たくさん本を読んで、たくさん旅をすること
- ・ 知的好奇心を持ち続けること。



## 永廣 颯 (えひろ あきら)

東京大学大学院経済学研究科博士課程

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

現代日本の財政・金融政策の政策形成過程を解明することを研究テーマにしています。現代日本の財政・金融政策の特質は1920年代から戦時期にかけて形成されたのではないかという問題関心があり、大学院時代から研究を続けています。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

現役の時は法学部を志望していましたが、浪人時代に政治・経済を勉強していた時、法学よりも経済学の方が世の中を幅広く見ることができそうで自分には「何となく」合っていそうだなと思ったことです。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

黒井千次『働くということ』講談社現代新書。大学卒業後の進路を考える際に読みました。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

大学のオリエンテーリングクラブの活動が生活の中心で、週末になると各地の野山を駆け巡っていました。クラブの有志でチームを組んで駅伝大会にも毎年出場しました。大学1年の学園祭でクラブの仲間と3日間大学に泊まり込んで準備・運営したこともよい思い出です。



5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。  
住宅地の中からいきなり校舎が現れて驚きました。小ぢんまりとしたキャンパスだなという印象を持ちました。
  
6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？  
思いつきり笑える時。至福の境地ですね。
  
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？  
その理由もお願いします。  
誰の授業とは特定しませんが、自分の大学時代にはなかった専門科目の授業を受けてみたいです。
  
8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。  
勉強やクラブ・サークル活動など、「甲南大学」の中で自分の興味、関心を見つけて、4年間それに精一杯打ち込みましょう！大学の授業は難しいと思いますが、前向きに取り組むことでものの見方が拡がり、必ず自身の成長につながると思います！



## 岡田 元浩 (おかだ もとひろ)

同志社大学院経済学研究科博士後期課程中退

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

経済学の歴史。現在は労働理論・思想の史的展開に関する批判的研究に取り組んでいます。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

当初は文学の道を目指して文学部に進んだのですが、挫折しました。その後の紆余曲折（うよきょくせつ）の中で、何となく経済学史研究の道にたどり着いたわけで、この世界に入る強い動機やきっかけがあったわけではありません。ただ、今では、結果的に自分に合った道に出会えたと、幸運に感謝しています。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

カール・マルクス『資本論』（向坂逸郎訳 岩波文庫 全9冊）。おそらく学部学生のみなさんにはきわめて難解な本でしょう。わたしも苦勞して読みました。ただ、経済学なるものを学ぶ真の目的は何かと問われた時、その答えはこの本の中にあるという気持ちを今も持ち続けています。

4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

学生時代のわたしは心の動揺がはげしく、いつも何かに焦り続けながらも、十分な行動をとまなわず、結果的にこの場でみなさんに語れるようなドラマを創り出すことができませんでした。恋愛、旅行、冒険的体験 etc.... 学生時代にもっと経験しておくべきでした。若き日々はかけがえのないものです。みなさんもわたしのように後悔せぬよう、今を精一杯生きてください。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

「キャンパスがちっちゃい」というのが、わたしの正直な初印象でした。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

かつては趣味に没頭している時でしたが、現在は、「人との志のふれ合いを感じられる時」です。

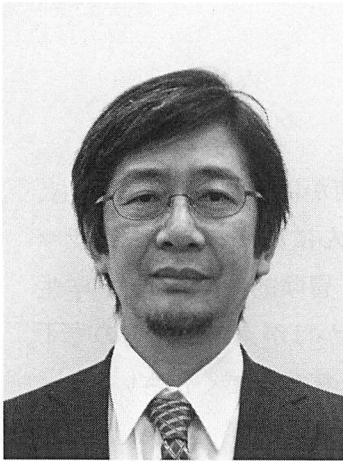
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

それぞれの先生の授業に、他にはないそれぞれの良さがあると思います。優劣など簡単につけられるものではありません。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

「明日死ぬがごとく生き、永遠に生きるがごとく学べ (Live as if you were to die tomorrow. Learn as if you were to live forever)」 (Mohandās Karamchand Gāndhī)



## 奥田 敬 (おくだ たかし)

慶應義塾大学大学院経済学部研究科博士課程

単位取得退学

一橋大学社会科学古典資料センター助手

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

「18世紀ナポリ啓蒙」

もう少し具体的にいえば、アダム・スミスから始まる(とされている)のとは違う〈経済学〉の可能性(初心)の探求。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

経済学部に入ったから。(それまでは経済学は〈批判〉の対象としか思っていないませんでした。)【⇒4.】

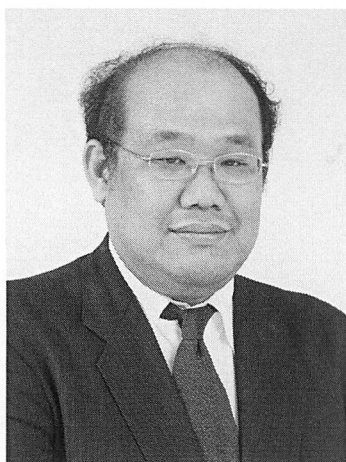
### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

ギリシア・ラテンの古典を読み漁りました。お気に入りにはエピクロスとアウグスティヌスでしょうか。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

ありません。ただ本気で学問しようとは思いました。【⇒1.】

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。  
旧制高校的な雰囲気懐かしさ(?)を覚えました。
  
6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？  
子どもたちの笑顔を目にするとき。
  
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？  
その理由もお願いします。  
20年前(着任当初)の自分の講義。徹底的に質問しまくりたいから。  
(実際にそういう学生さんも何人かいました。)【⇒5.】
  
8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。  
《Es irrt der Mensch, solang'er strebt.》(Goethe, *Faust*)  
(人間は、努力する限り、迷うものだ。)



## 春日 教測 (かすが のりひろ)

横浜国立大学大学院国際社会科学研究所

博士課程 (産業組織論、経済政策)

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

産業の競争状況や企業の戦略を、データに基づき実証的に検証することです。テレビや新聞で日常接するニュースで知る内容には、どのような経済合理性があるのか等を考えることは、良い頭のトレーニングになっていると思います。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

経済学への興味が先にあったのではなく、高校時代に文系科目に興味があり、また数学も好きでしたので、両方を活かせる分野という観点から探したら経済学に行き当たりました。そんな感じでしたので、最初は胸を張れる学生ではなかったと思いますが、勉強してみると結構面白くハマってしまい現在に至ります。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

中島敦の一連の著作、「山月記」「名人伝」「李陵」等が好きです。内容はご存じの方も多いかと思いますが、特に漢文訓読調の文章が流麗でリズムが良く、朗読 CD も購入して今でも時々聴いています。

4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

一年次秋の学園祭で出店し、期間中の三夜、寒空のもと交代で屋台番をしながらサークルの友人ととりとめもない話をしたことです。内容は忘れてしまいましたが、自由を満喫している充実感があったと記憶しています。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

非常勤で夏季集中講義を行ったのが最初ですが、当時の勤務校との規模のギャップが印象的でした。1日4～5コマ講義だったためかなりキツかったのではないかと思います。課題のプレゼンではPPTをうまく使いこなしていた学生が多いと感じました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

お風呂に入っている時と就寝する前、が至福の時です。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

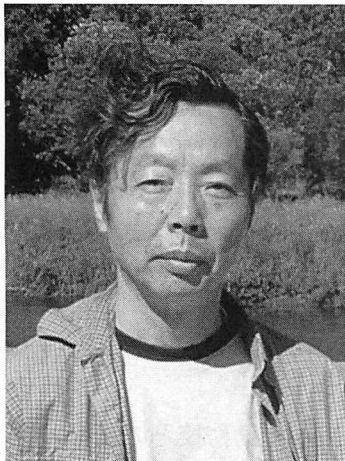
その理由もお願いします。

執筆時点では赴任前なので詳細は存じていないのですが、一般論としてミクロ経済学入門・マクロ経済学入門の聴き比べをしてみたいです。経済学はかなり標準化されており誰が教えても基本は同じはずですが、実は説明の仕方や事例の取りあげ方などで微妙な差がでるところもある科目なので、その違いが興味深いのではないかと思います。

もっともこれは主として教える側の視点からの理由なので、学生のみさんにはあまり参考にならないかもしれませんね。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

大学は一方的に教わる場ではなく、講義に対する質問や意見、ゼミでの議論等を通じて共に学ぶ場でもあります。これから4年間、一緒に経済学を勉強していきましょう。



## 草野 正裕 (くさの まさひろ)

神戸大学経済学部、神戸大学大学院経済学研究科

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

数量経済史、近世日本マクロ経済史ということになっています。もう少し具体的に書いてみます。まず近世日本の物価や賃金、反当収量、貨幣相場などを古文書などから拾い集めます。これらをコンピュータ処理して、近世日本の市場経済や地域差について構造と変動といった観点から、経済理論を手掛りにもっともらしく理屈をいうということになります。このテーマを選んだ理由は、歴史史料を読んで整理すること、数学、統計学、経済理論、コンピュータなどが下手の横好きで、それでもできるだけ歴史を史実にもとづいて論理的に構成したかったからです。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

申し訳ないのですが、経済学がおもしろいと思ったことはなかったのです。私は歴史と物理・数学が好きでしたが、経済学にはあまり興味が湧きませんでした。それでも経済学部に進学したのは、商社に就職して外国に行きたいと思っていたからです。私にとって経済学とは、人間とは何か社会とは何かということを考えるときの「ひとつの」手掛りだったのではないかと思います。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

そういうものではありませんが、あえて言えば

① ヒルティ『眠られぬ夜のために』(岩波文庫)、② 『徒然草』、③ サムエルソン『経済学』(岩波書店)。①、②は若いときに面白いかどうかはわかりません。



4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

クラシックギターの練習、麻雀、将棋。しかしいずれも上達しなかった。勉強もかなりしました。すでに古典を読む人は減っていましたが、しかしもっと古典（たとえばマルクスやシュンペーター）をたくさん読んでおけばよかったかもしれません。というより、もう一度人生をやり直せるのなら、(才能に恵まれたうえで)物理か数学の研究者になりたいと思います。あるいはピアニスト、バイオリニスト、または碁打ち、将棋指し……。組織は苦手なのかなと思います。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

甲南大学は、昔から「坊っちゃん学校」、「ぼんぼん大学」と呼ばれ、裕福な家庭の子息が多いというイメージがあり、今もなおこのステロタイプは拭いがたいと思われます。創設当初の時代の雰囲気、即ち、大正デモクラシー、リベラルな気風、教養主義などの影響の下に、今もなお規則よりは自由、画一的であるよりは個性の伸長、実学よりは教養といったイメージが強いのではないのでしょうか。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

たとえば、コンピュータ・プログラミングです。以前研究の過程で、物価系列の山と谷をグラフ上で自動的に識別したいと思ったことがありました。数学的には、極値を見つけることと同等ですが、長時間の格闘が楽しめました。ひらめいたアイデアを、悪戦苦闘しながら、ついに具体的なかたちに表現できたときの喜びは、何ものにも代え難いものがありました。即ち明確なかたちを持たない思いつきにすぎないものを、プログラミング言語をもちいて明晰に表現することは、知的興奮を伴うほとんど無上の楽しみだったように思います。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？その理由もお願いします。

「入門ミクロ経済学」と「入門マクロ経済学」は私以外にも何人もの先生方が講義を担当されています。いちど他の先生方の講義を聴かせていただいて参考にしたいと思うこともあります。しかし、実を言うとかねてより理工学部の物理や数学の授業、音大の和声学、対位法、楽式論などの授業に出てみたいという気がしています。学生時代に一部経験済みですが(函数方程式、和声学)。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

経済学を学ぶと多くの経済の知識が得られ、さらには経済現象を論理的、体系的に考えることができるようになると思います。お望みなら結果として、日常の経済活動をうまくやってゆくのに多少はお役に立つでしょう。



## 高 龍秀 (こう よんす)

1984年に大阪府立大学を卒業し、1991年大阪市立大学大学院を修了。

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

広くみるとアジア経済。その中でもサムスンなど韓国の企業を研究しています。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

大学3年の時に読んだ本がショックを受けるくらい感動しました。その先生に学びたくて、大学院を受験しました。その指導教授がとても魅力的な先生で、経済学を真剣に学ぶようになりました。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

小田実『何でも見てやろう』

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

学生時代は、韓国関連のサークルで毎日のように友達と社会のことを議論し、よく勉強しよく飲みました。一生付き合える仲間と出会ったと思っています。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

甲南大学の学生はとても人懐っこい印象をもちました。最初のゼミで、アメリカンフットボール部の2人の学生がとてもユニークで、今でもよくあっています。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

家族とのんびり雑談している時でしょうか。完全にオフモードでリラックスできるから。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

寺尾先生の「上級マクロ経済学」と市野先生の「上級ミクロ経済学」です。去年、公開的な Joint Lecture に参加してびっくりしました。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

大学時代に大切な友達を作りましょう。授業にはなるべく出て先生の話をよく聞きましょう。



## 小林 均 (こばやし ひとし)

一橋大学経済学部卒

一橋大学経済研究科博士課程満期退学

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

持続可能な社会保障制度と税制

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

小学校時代、野球好きな教師が「後樂園」の「後楽」の真の意味を教えてくれ、(住まいが近く、母親から聞いた「貧乏人は麦を食え」と言った) 内閣総理大臣池田勇人が高度成長の所得倍増計画をぶち上げ、高校時代の「政経」の授業で「経済学」の意味を知り、軍人上がりの英語の教師に、公立高校であったためか、「君たちは国民の血税で教育を受けているのであるからして、将来国民に還元すべき」と言われ、そして「経済の状態がよいことが人々の幸せにつながる」とおぼろげながら考えるようになり、商学部にも法学部にも関心がなく、いわんや文学部は眼中になく、理系は遺伝子からして有り得ず、経済学部に進みました。経済学部に進み、マルクス経済学はすでにかつての勢いを失い、「疎外論」で命脈を保ち、ケインズ経済学全盛の時代で、マクロ経済学が主流で、最近見直されている「経済学の本質と意義」のロビンズはやや影が薄く、2009年暮れ逝った、マクロとミクロの結合である「新古典派総合」のサミュエルソンの「経済学」が必須とされた時代に学部時代を送りました。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

特にありません。代わりに、「薦めたい」姿勢として、「ありふれたこと」を、「しっかり」とすること。

4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

大学3年生（吹田で「万博」）の時、1年間新聞配達をし、ヨーロッパに2週間旅行したこと。雪の降った冬朝早く「新宿通り」で、新聞を山積みした自転車ごとこけたこと、現在の「防衛省」での三島由紀夫割腹事件報道のため最終版が遅れ、夕刊の配達が大幅に遅れたこと。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

1998年4月の赴任で、震災後、大学の建築物がすべて新しいものになっていましたので、非常にきれいなキャンパスに映りました。現在5号館や人口芝のある場所は、旧制甲南高校時代のグラウンドのままでした。ロースクール棟は松を何本か伐採し建てられました。学生の気質は、赴任した時から変化があるように感じていましたが、最近、そんな変わっていないのでは、と感ずるようになりました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

何事もなく、一日が終わり、ぐっすり眠れ、翌日爽快に目覚めること、と思います。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

特にご質問のような意識を持ったことがないので、お答えのしようがありません。代わりに、自己の大学生時代、毎週出席し、一生懸命ノートをとった講義は、「憲法」、「経済成長論」、「日本経済論」、講義全体は、特に印象は残っていないのですが、講義で印象に残った言葉を覚えているのは、「政治経済学」、「商業通論」です。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

遊ぶ金のためだけのバイトはしないこと。経済的な特別な理由を除いて、講義期間中アルバイトは週3日まで。一生その時々を与えられた条件の下で文章を書く必要性に迫られるものです。本を読むこと、次第に文章は書けるようになるものです。大学生活は短いです。将来の目標を早めに設定し、それに向けて、計画を立て、我慢強く努力すること。人生その繰り返しです。



## 小山 直樹 (こやま なおき)

名古屋市立大学大学院経済学研究科博士課程  
後期課程修了

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

日本の国際環境協力の実際について調べています。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

経済学を学ぶきっかけとなった出来事は、高校3年になって進路選択を考えたとき、「世の中を動かしている一般的な理（ことわり）を学んで、社会に関する洞察力を身につけるには、どの学問を学ぶのが早道か？」という設問を設定し、熟慮した結果、「経済学である」と結論したことです。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

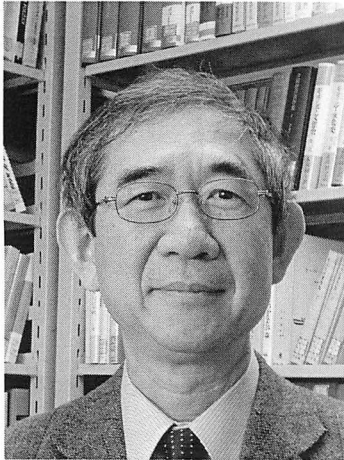
大学ではサークル「SF研究会」に所属し、SFとファンタジーばかり読んでいました。おすすめというより、ぜひ挑戦して欲しい本は、トールキンの『指輪物語』です。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

卒業論文を書くための資料を探して図書館の書庫に入り浸っていたこと。資料探しそっちのけで、興味を引かれた本をずっと読んでいました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。  
学生ファッションが男女ともにとってもインパクトがあり、「ここって本当に大学？」と疑問に思いました。
  
6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？  
街中を普通に歩いていて、ふと目に入る穏やかな日常に囲まれているのを自覚するとき、「オレって恵まれているよな」と思います。
  
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？  
その理由もお願いします。  
藤田昌久甲南大学教授の授業をぜひ受けてみたいです。藤田先生は空間経済学理論の権威で、地域経済活性化に関しておそらく日本で右に出る者がいないほど事情通の経済学者だからです。
  
8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。  
「マイペース」で行こう！





## 杉村 芳美 (すぎむら よしみ)

東京大学経済学部卒業

東京大学大学院経済学研究科

理論経済学専攻博士課程

単位取得満期退学

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

経済体制を、社会の中にある経済という視点から研究しています。

なかでも、歴史や文化の中での労働・仕事についての意識や制度の在り方に関心があります。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

高校時代に読んだ書物を通して、社会や歴史について知るには経済学を学ぶことが一番確かであるという気持ちを漠然ともったことによります。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

小説ですが、島崎藤村の『夜明け前』です。日本社会の近代へ向かう大きな動きが主人公の人生を軸にして描き出されていく展開に心をうたれました。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

関西から東京の大学に入り、寮生活で始まりましたので、新入生のころ見るもの、聞くものすべてが珍しく、楽しい思い出がしたのをおぼえています。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

明るい大学という印象を強く持ちました。学生たちの表情が明るく、楽しそうに見えました。大学のカラー、甲南のカラーがあるのだということを実感しました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

なんといっても、授業や課外での時間に、学生のみなさんと心が通じ合っ  
て話や議論がはずむときです。教員にとっていちばん幸せを感じます。それ  
から、OB・OGのみなさんが訪ねてきてくれたり、便りをくれたときです  
ね。

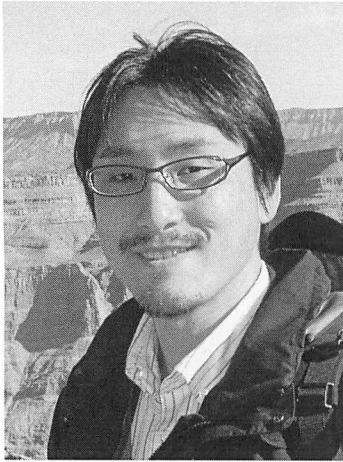
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

寺尾先生と市野先生のジョイント・レクチャーですね。楽しくて、ためにな  
り、経済学のことがよくわかりそうです。時間を合わせて聞きにいければと  
思っています。それから、経済学部の授業ではないのですが、甲南平生塾も。  
将来を考えるのによい機会になると思います。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

大学生活は、人生で2度とない貴重な4年間です。自己を成長させるために  
充実した過ごし方をしてください。いろいろな考えに触れ、いろいろな世代  
とも交流をもち、自分の世界を広げてください。できたら、留学にチャレン  
ジしてほしい。アルバイトに取られる時間はほどほどにして、将来のために  
時間を費やしてください。



## 柘植 隆宏 (つげ たかひろ)

1976 年生まれ

神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程修了

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

環境経済学です。環境にはお金で測るといくらかの価値があるのか、といったことを研究しています。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

これといったきっかけはありません。たまたま経済学部合格したため、経済学を勉強し始めました。後になって環境問題をはじめとした様々な社会問題を考えるうえで経済学が役に立つことに気づき、真剣に勉強するようになりました。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

『地球の歩き方』です。いろんな国に行きたくなりました。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

アウトドアサークルの副会長をしていましたので、サークル中心の学生生活を送っていました。熱中できるものがあると学生生活がより楽しくなりますし、友達もたくさんできますので、みなさんにも課外活動に参加することをお勧めします。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

立地が良くて、キャンパスもきれいで、とても気に入りました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

休日に奥さんと一緒にいるときです。普段は仕事の関係で別々に住んでいるので、貴重な時間です。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

歴史や思想の授業を受けたいです。学生時代には、それらの大切さや面白さに気付くことができず、ほとんど勉強しませんでした。いまはそのことを反省しています。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

いま、みなさんが思っている「自分の適性」や「自分の限界」は、意外とあてになりません。自分自身を正しく理解するためにも、学生時代にいろいろな経験をしてください。



## 寺尾 建 (てらお たける)

1968 年生まれ

京都大学経済学部卒業

京都大学大学院経済学研究科修了

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

——「日本経済」や「アメリカ経済」、「中国経済」などについて考えるために必要となる道具立てを揃えることです。専門用語を使えば、「マクロ経済学の理論的な基礎づけ」という言い方になります。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

——高校2年生のとき、「自分は、経済学から呼ばれているのでは？」と思うことがありました。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

——上の質問への回答とも関係しますが、高校2年生のとき、広中平祐『学問の発見』を読んだことが、経済学を学ぼうと思ったきっかけです。現在では、広中平祐『生きること学ぶこと』（集英社文庫、2011年）という文庫本になっています。ぜひ読んでみてください。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

——優秀な人はみな、ふだんから人一倍努力しているということを目の当たりにしたことです。それ以来、「できる／できない」などと能力を問題にする前に、「やっている／やっていない」ということ、つまり、どれだけ努力しているかを問題にするようになりました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

——なんだか、とてもまぶしかったです。それまで自分がいた場所とは時間の流れ方がまるで違って、「ここは、この世界から消えてしまっても誰も困らないのです的な贅沢な感じがあるよね」というのが第一印象です。2001年4月のことです（その1年後からずっと、ここにいます）。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

——「この一言で、笑ってほしいな」と思って自分が言ったことで、相手が笑ってくれたとき。一日1回くらいの頻度であることなのですが、授業中となると、半期に一度あるかないかです（ごめんなさい）。

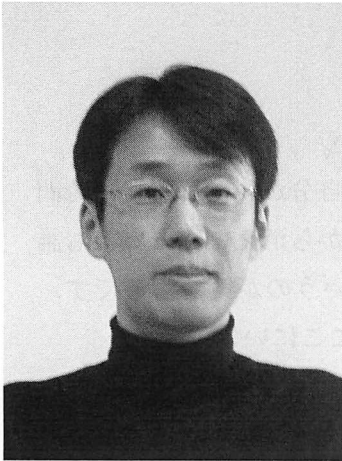
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

——市野泰和先生の担当している、すべての授業。ぼくの知るかぎり、世界で最も素敵で素晴らしい経済学の授業をする先生だからです（ぼくは、市野先生の授業を受けたことがあります。だけど、いまのところはすべてではないので、すべてを受けてみたいです）。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

——たくさん読んで、たくさん見て、たくさん聞いて、たくさん食べて、たくさん飲んで（二十歳以降）、たくさん笑って、ときどき頭をぶつけて、ときどき泣いて、たまにはケンカして（でも必ず仲直りをして）、「自分が子どもでいたことを忘れていない大人」になってください。大学は、「大人になるための学校」です。



## 中島 清貴 (なかしま きよたか)

大阪大学経済学研究科博士後期課程修了

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

最近、銀行と借入企業の相互依存関係の観点から金融システムの安定化と銀行貸出の問題を研究しています。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

学部時代は経済学が大嫌いで、ドイツ経済史の先生の下で様々な本を乱読していました。大学院は人文系に進もうと考えていたのですが、3回生の終わり頃、先生から「メシを食っていけないから人文系に行っちゃダメ」と言われ、「じゃ、どうすればいいんですか!?!」と半ギレ状態で質問したところ、「経済学ならメシが食えるかもしれない」と言われて、「嫌々」やり始めたのがきっかけです。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

高校3年生のゴールデンウィークまで、私は漫画の本しか読んでいませんでした。ゴールデンウィークが終わる頃、本屋で偶然手に取った村上春樹の小説、『世界の終りとハードボイルドワンダーランド』の読了後、「自分の目にしている世界」が変わったような気がしました。同じような経験を求めてその後、様々な本を読み漁りましたが、本を読む量に比例して、高校にあまり行かなくなり、大阪の中之島図書館に行くようになりました。次に、私に同じような経験を与えてくれた本は、大学生の時に読んだ、安部公房の評論『内なる辺境』と『終わりし道の標に』という本です。この2冊は、読了後、「もう来るとこまで来たな」という感覚とともに「自分の足で立ってこの世界で生きて行くんだ」という気概を当時の私に与えてくれた本です。

4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

私が初めて大学で授業を受けたのが『経済史入門』という授業でした。その科目を担当されているドイツ経済史の先生が、最初の授業で、「大学では授業を通じて知識を得ようなんて考えないでください。自分で本を読み、自分の頭で徹底的に物事を考え、他者と議論してください。であれば私の授業なんて出る必要はありません」と話されていました。その時の言葉が今でも脳裏に焼き付いています。私はその先生の弟子になりたいと思い、3回生になってからその先生のゼミに入りました。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

とても華やかな大学だと思うと同時に、どこか自分のDNAが拒否しているような違和感を有しました。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

息子の成長を感じる時です。最近、息子が私に絵本（くまの子ウーフ）を読んでくれたときには涙が出るほど嬉しかったです。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

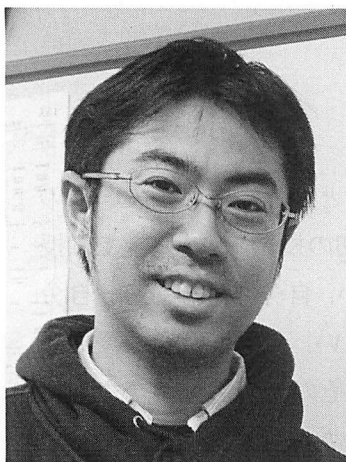
その理由もお願いします。

わかりません。しかし、上記「4」で記載した学部時代の恩師の言葉を述べてくれる先生であればその方の授業を受けてみたいです。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

たかが大学、されど大学です。大学に過度な期待をすることなく、かと言って何の価値も無いと斜に構えるのでもなく、皆さん1人1人にとっての使い勝手なり価値を見出してください。





## 林 健太 (はやし けんた)

神戸商科大学商経学部管理科学科

大阪大学大学院国際公共政策研究科

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

情報通信経済学、平たく言えばインターネット関連産業のあり方や問題点について、大学院時代からずっと研究してきました。

3年前の海外留学を機に、現在は関心分野が観光産業へとシフトしつつあります。今、興味があるのは、日本へのカジノ導入の可能性や、ICTをどう観光産業と結びつけるかについて調査・研究することです。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

身近な経済学者（父）に薦められて。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

SFが好きなので、田中芳樹氏の小説はよく読みました。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

成人式の2日後に起こった阪神淡路大震災。

卒業旅行先のラスベガスのスロットで20cent→\$100になったこと。

### 5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

幼少の頃から知っている地元の大学なので、まさかそこに就職できるとは、という感じでした。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

ヴィッセル神戸が勝った翌週は穏やかな気分で過ごせます。

ラスベガスの空港に降り立った瞬間の高揚感は、何ものにも変えられません。でも今一番幸せを感じるのは、家に帰り、子供に出迎えられた時です。その後、妻と夕食を共にし、ドラマを見ながら談笑する、そんな日常に日々感謝しています。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

林健太先生（非常勤）の「入門ミクロ経済学」。

理由は、自分と同姓同名の方がどんな講義をするのか興味があるから。

次点で、小山先生の「統計入門」。

学生時代によく理解できなかった割に、仕事上必要なことが多いから、改めて勉強したいです。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

これから4年間を過ごす上でのアドバイスとしては、「卒業するまでに、できるだけ多くの友人・知人を作り、彼らとリアルに喋ること」に尽きます。大学時代の友人・恩師は一生の宝物であり、かけがえのない財産となります。学生の間は勿論、社会に出てからも、利害関係無しに相談に乗り、協力してくれるのは、彼（彼女）らに他なりません。一人でアルバイトや資格の勉強に精を出すのも良いとは思いますが、サークル活動やゼミ等を通じて一人でも多くの方と出会い、共に遊び、共に学びながら4年で卒業されることを願っています。



## 平井 健介 (ひらい けんすけ)

慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程

博士 (経済学)

近代アジア経済史, 日本植民地経済史

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

日本植民地 (台湾や朝鮮) における経済を研究しています。これらの地域は日本の政策によって発展したと言われますが、私は、日本の政策に現地社会がどのように対応することで「発展」が可能となっていたのか、他のアジア地域は「発展」に関係していたのかを分析しています。

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

経済学部と商学部合格し、商学部に進みたいと父親に話したら、「経済学部やないと学費は出さん」と言われたため。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

城山三郎『鼠』(文藝春秋, 1975年)。日本史の教科書では数行で説明される「米騒動」の裏で、神戸の大商社「鈴木商店」に大きなドラマが展開していたことを知り、歴史を学ぶ面白さを垣間見た。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

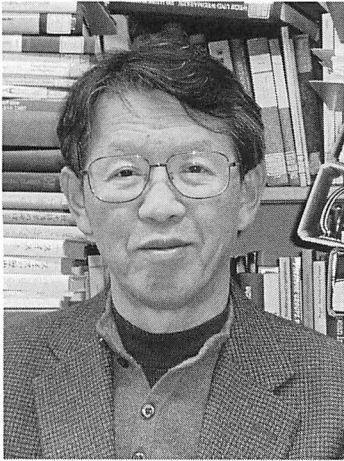
- ・1年生の春学期の履修登録。「自己責任」の意味を知った。
- ・入ゼミ面接。いわゆる圧迫面接で、無能な自分に愕然とした。
- ・ゼミの友人の一言。「歴史を勉強したなら選挙に行け。」
- ・友達と行った台湾。植民地を研究するきっかけになった。
- ・友達と行った上海。小道の反対側が大気汚染で霞んで見えた。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。  
こぢんまりして綺麗な良い大学だと感じた。
6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？  
夕食に美味しい肴と日本酒があるとき。それが風呂上がりだと一層幸せ。
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？  
その理由もお願いします。  
授業：基礎ゼミ  
理由：私が通った大学には、基礎ゼミがなかったから。
8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。  
大学1年生の時に読んでおけばよかったと思った文章を紹介します。

「大学に入ると新しい「こと」を学ぶ、と考える人がいますが、それは正確ではありません。たくさんの新しい知識も付け加わりますが、より大事なことは方法を学ぶことです。」(後掲書、236頁)

「学ぶ、とは自分の問いに自分で答えることです。高校までの教わるという行為をこれと対比的に言い表せば、他の人の立てた問いとそれに対する他の人の模範的な答えを知る、ということです。それが時には面白く、しかしながらしばしば退屈に思える理由の多くは、その問いがあなたのものではないので心に沁みないのです。」(後掲書、237頁)

この文章が掲載されている本(小林康夫・船曳建夫編『新・知の技法』東京大学出版会、1998年)は、図書館で借りられますので、興味ある人は借りてみてください。



## 藤本 建夫 (ふじもと たてお)

京都大学大学院経済学研究科博士課程  
(1974年)

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

ドイツ経済政策思想史  
震災と地域経済

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

大学二年の時にアダム・スミス『国富論』を外書購読で読んだ  
印象が強烈だったこと。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

ドイッチャー『トロツキー伝』とか、友人たちが面白いといった本を  
手当たり次第に読んでいた気がする。

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

何と言っても大学紛争で、牧歌的な学園があつという間に全国に広がって  
いったのはなぜなのか、未だにわかりません。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。

研究室は中高が教室に使っていた部屋で、暖房と言えばアラジンの石油ストーブだったこと、今の図書館は当時テニスコートで、その隣には藤棚があり、文字通り「学園」という雰囲気でした。

6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？

学生時代、これといった積極的理由なしに経済学を専攻し、これを職業にできたことは本当に幸せだったと思います。

7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？

その理由もお願いします。

私が学んだ経済学は古典派経済学やマルクス経済学で、いわゆる「近経」について本格的なトレーニングを受けていないので、一度ゆっくり勉強してみたい。

8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。

人生の中で大学時代ほど自由な時間はないけれど、それに気づかないうちに就活が始まり、大学生活が終わってしまうので、しっかりと目的をもつことが大切だと思う。



## 森 剛志 (もり たけし)

1970 年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業、京都大学大学院経済学研究科博士課程修了（博士号取得）。日本学術振興会特別研究員を経て、甲南大学経済学部教員。

主な著書「日本のお金持ち研究」（共著）。

### 1. 先生の研究テーマは何ですか？

家計の経済、労働経済、社会保障

### 2. 経済学を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

これから経済が重要になると思ったから。

### 3. 学生時代に読んだおすすめの本は何ですか？

川勝平太著「日本文明と近代西洋」（NHK ブックス）

### 4. 学生時代で印象に残っていることはありますか？

私は、学生時代、タイ・マレーシア・シンガポール・インド・ネパール・アメリカなど世界各地を転々と旅行しました。時間とお金があれば旅をしていました。自分探しをしていたのです。その時に見た、美しい夜空。

5. 甲南大学に初めて来たときの印象を教えてください。  
綺麗な摂津本山の花屋さん。それと行儀正しい学生さん。
6. 幸せだと感じる瞬間はいつ、それは何ですか？  
うまく授業ができたとき。これ本当。
7. 先生が甲南大学経済学部生なら誰のどの授業を受けてみたいですか？  
その理由もお願いします。  
森剛志の「家計の経済」。大学時代にこんな授業を受けていたら、うれしかった。(嘘のようで本当の話。ナルシストかも)。
8. 最後に新入生にメッセージを一言お願いします。  
人生では、うまくいかないことがあります。どうしようもないほどの屈辱をうけることもあります。でも、いつも心にバランスを。そして少しの勇気と情熱を！  
ハングリーであれ！バカであれ！





# 新入生への メッセージ



## “生きることを学ぶ，終に”

2012 年度卒業生 橋本卓弥  
後藤ゼミナール第 06 期生  
寺尾ゼミナール第 10 期生

新入生のみなさん。甲南大学経済学部へのご入学，心よりお祝い申し上げます。

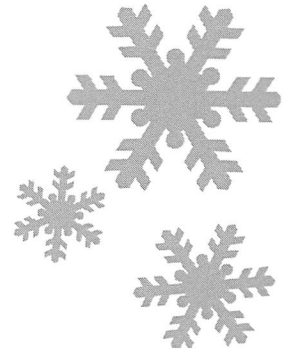
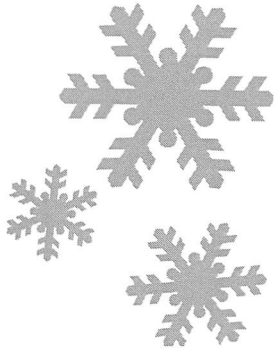
甲南大学経済学部が新たにみなさんを迎え入れることを祝福する一人として，みなさんに向けてエッセイを執筆させていただくこととなりました。このような機会をいただけて，本当に光栄に思います。

さて，私はこれから甲南大学を去る立場にいます。新入生のみなさんも（「規則」正しくいけば）4 年後に大学を卒業します。大学で過ごした 4 年間で今振り返ってみると，得たものもあれば，失ったものもたくさんあります。もちろん，それら一つずつを厳密に数えていたわけではないので，全てを机の上に並べて，それぞれの大小関係を比較することはできません。もしかしたら，得たもののほうが，失ったものよりも少ないのかもしれませんが。ですが，もしそうであったとしても，その少なくとも得たものは，これから「より善く生きるため」に大切なことなのだと強く感じています。よって新入生の皆さんにも，失われることのみで捉われることなく，甲南大学での毎日を真摯に学びながら生きてもらいたいと思います。

私は甲南大学経済学会の評議員を 1 回生の頃からずっと務めてきました。経済学会最大の行事であるインナーゼミナール大会の運営，講演会の企画実施，そして今みなさんが手にしているこの『経済学部入門のしおり』の編集作業など，その活動内容は多岐にわたります。そのため大学内だけでなく，時には大学外の方とも関わって仕事をすることもありました。学生と教員の評議員で協議しながら運営する自治的な組織ということもあり，

特に学生は主体的な行動が求められるため、会議のレジメ作成であっても事前に準備することの重要性を知る機会となりました。また多種多様な知性を備えた先輩や友人、そして後輩と共に「仕事」を通じて交わした会話や、ほとんどの空き時間を過ごした5号館5階にある経済学会コモンルーム内で、読んだ本や経済学について議論したことなどを通じて、これまでに自分自身を何度も向上させることができました。

大学で過ごす4年の間に、みなさんの想像をはるかに超える素晴らしい「出会い」がきっと待っています。例えばそれは学問を通じた出会いです。そして出会ったヒトを大切にしてほしいと思います。ヒトを大切にすること、その意味と方法をきちんと知ることが、大学を卒業する一つの条件なのではないでしょうか。



新入生の

みなさんへ





## 甲南大学経済学会について

### 経済学会とは？

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。甲南大学経済学部  
に入学した皆さんは、同時に「甲南大学経済学会」の会員となりまし  
た。甲南大学経済学会とは専任教員・経済学部学生（EBA 総合コース除  
く）・大学院学生で構成されています。経済学会は、経済学部教員・学  
生と相互にコミュニケーションをとりながら、皆さんがより良い大学  
生活を送れるように日々活動しています。

新入生の皆さん、ぜひ大いに活用して下さい。

### 学生評議員・学生スタッフ

それぞれ役職を決めた、学生評議員と学生スタッフが共同で活動し  
ています。先輩・後輩同士でも気軽に会話ができる、とても和やかな  
雰囲気です。

定期的に評議員会を開きます。この場では教員評議員・学生評議員  
が企画内容等について意見を交換します。

# 主な活動内容

## ・総会

毎年5月下旬に開かれます。今年度の活動方針・予算・評議員を決めるための大切な会です。みなさんの意見を聞くことが目的の1つであるので、「経済学会会員」は原則出席となっています。

## ・講演会

前年度は写真家の石川直樹さんをお呼びし、講演会では学生時代に何か新しく始めることの大切さを学びました。

## ・ゼミ紹介（2回生以上対象）

後期から始まるゼミ I を選択する際の参考になります。参加できなかった人は、コモンルームでビデオを見ることができます。

## ・社会見学

工場・会社に見学へ行きます。現場に足を運ぶからこそ学べるものがたくさんあります。前年度は「関西国際空港」と「造幣局」へ行きました。経済学部生であれば誰でも参加できます。

## ・経済学部インナーゼミナール大会

ゼミでの研究成果を発表する大会です。甲南大学経済学会で企画・運営する甲南大学経済学会の最大の行事です。

発表は誰でも見ることができます。2回生から本格化する『ゼミ』を知るためにもぜひ参考にして下さい。

経済学会に興味がある、もっと詳しいことが知りたい!!という方は

## まずはコモンルームへ!!

5号館5F(5505)へ来てみて下さい。経済学部生専用のポット・電子レンジ・パソコンがあります。

4月は新入生を対象にお菓子の配布を行っています。また時間割作成のサポートやそれに関する質問にもお答えします。コモンルームに在室している評議員・スタッフに気軽に声をかけて下さい。また、HPもご覧下さい。

<http://www.konan-u.ac.jp/~econ/keizaigakkai/>

開室中は常時ドアを開けています。とてもオープンな雰囲気ですので、ぜひ一度経済コモンルームへ!!

## 経済学会評議員募集!!

経済学会では一回生の新しい評議員を募集しています。ここでは経済学会会員がよりよい大学生活を過ごすことができるように、会員代表としてさまざまなサポートを行っています。また、数々の行事を開催しています。

評議員に興味がある方、大学に入って何か挑戦してみたい方、何かを企画、運営することが好きな方はぜひ一度気軽に見学にいらしてください。

興味のある方は一度5号館5階にある  
経済コモンルームに!

## 甲南大学経済学会会則

昭和35年 2月24日	制定承認
昭和41年 12月14日	改正承認
昭和44年 10月16日	経済学会集会改正承認
昭和49年 5月16日	経済学会総会改正承認
昭和52年 5月18日	経済学会総会改正承認
昭和58年 5月25日	経済学会総会改正承認
平成 2年 5月30日	経済学会総会改正承認
平成 3年 5月29日	経済学会総会改正承認
平成 4年 5月27日	経済学会総会改正承認
平成 6年 5月25日	経済学会総会改正承認
平成 8年 5月29日	経済学会総会改正承認
平成 9年 5月28日	経済学会総会改正承認
平成13年 5月30日	経済学会総会改正承認
平成15年 5月28日	経済学会総会改正承認
平成16年 5月26日	経済学会総会改正承認
平成20年 5月28日	経済学会総会改正承認
平成21年 5月27日	経済学会総会改正承認

- 第1条 本会は、甲南大学経済学会と称し、事務所を甲南大学経済学部内におく。
- 第2条 本会は、全員加盟を原則とする。甲南大学経済学部の専任教員・学生（EBA総合コースの学生を除く）・大学院学生・卒業生のうち入会を希望する者、その他本会評議員会において入会を認めた者をもって組織する。会費については以下のとおり。なお、納入した会費は、理由のいかんを問わず返還しない。ただし、学生会員として会費を納めた者で入学を辞退した者についてはこの限りではない。
- |           |           |         |
|-----------|-----------|---------|
| 教 員       | 年 会 費     | 5,000円  |
| 学 部 学 生   | 会 費（在学期間） | 20,000円 |
| 大 学 院 学 生 | 会 費（在学期間） | 10,000円 |
- 又、卒業生会員の権利および義務については、別に細則を定めるものとする。
- 第3条 本会は、経済学の研究ならびに普及をもって目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 研究会
  2. 学術講演会
  3. 甲南経済学論集および経済学学生論集の発行
  4. 学会新聞の発行
  5. 研究・教育資料の収集・管理
  6. インナーゼミナール大会の開催
  7. 専任教員研究書刊行助成
  8. その他本会の目的を達成するために必要と認める事項
- 第5条 本会の最高議決機関として総会を置く。本会の予算と決算は総会の承認を得なければならない。総会規程は別に定める。
- 第6条 総会は、本会の事業を運営するために評議員を選出する。評議員会は、経済学部長を含む専任教員8名、学生8名以上20名以下により構成され、任期は1年とする。評議員会規程は別に定める。
- 第7条 評議員長は経済学部長が兼任する。評議員長は本会を代表し、総会および評



議員会を招集する。

第8条 評議員会は互選により次の役員を選出する。

1. 総務委員（教員1名学生1名ないし2名）は、評議員間の連絡・調整にあたり、評議員会の事務を統括するとともに、本会の事業の記録を作成する。
  2. 会計委員（教員1名学生1名ないし2名）は、本会の事業経費を管理する。
  3. 管財委員（教員1名学生2名ないし3名）は、研究・教育資料の収集を行う。
  4. 編集委員（教員2名学生2名以上）は、甲南経済学論集、経済学学生論集、学会新聞等の定期刊行物の編集・発行にあたる。
  5. 企画委員（教員2名学生2名以上）は、研究会、学術講演会、インナーゼミナール大会、その他本会の目的を達成するための事業を企画する。
- なお、評議員会は必要に応じて会員の中から本会の活動に協力する実行委員を委嘱することができる。

第9条 評議員会は、本会の事業活動を円滑に行うための諮問・連絡機関としてゼミ委員会を招集することができる。

第10条 本会の事業とそれともなう予算の執行を厳正・公平たらしめるべく、教員1名学生1名の監査委員を置く。監査委員は総会において選出され、任期は1年とする。

第11条 本会の経費は、会費・事業収入・寄付金および甲南大学からの助成金をもってこれにあてる。

第12条 本会則は、総会規程第6条に基づいて改正することができる。

## 総 会 規 程

[ 昭和44年10月16日 経済学会集会制定承認  
平成6年5月25日 経済学会総会改正承認 ]

第1条 総会は、経済学会会員全員によって構成され、その決議はすべてに優先する。

第2条 原則として毎年5月に定期総会がもたれなければならない。

第3条 評議員長は、次の場合2週間以内に臨時総会を招集しなければならない。

1. 評議員会が必要と認めたとき
2. 経済学部教員2/3以上の要求があったとき
3. 学生会員50名以上の要求があったとき
4. 卒業生会員50名以上の要求があったとき

第4条 総会は、卒業生会員を除く全会員の1/5以上の出席により成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。

第5条 総会の決議は、出席会員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

第6条 経済学会会則の改正は、出席会員の2/3以上の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

## 評 議 員 会 規 程

昭和44年10月16日	経済学会集会制定承認
昭和52年5月18日	経済学会総会改正承認
平成20年5月28日	経済学会総会改正承認
平成21年5月27日	経済学会総会改正承認
平成22年5月19日	経済学会総会改正承認

- 第1条 評議員会は、経済学会会則に定められた事業の運営を行い、その事業を達成させるために評議員は評議員会に出席するよう努めなければならない。
- 第2条 評議員会は、次の事項について総会の承認を得なければならない。
1. 予算および決算
  2. 活動報告
  3. その他評議員会が必要と認めた事項
- 第3条 評議員長は、原則として毎月1回定期評議員会を招集しなければならない。
- 第4条 評議員長は、次の場合10日以内に臨時評議員会を招集しなければならない。
1. 評議員長が必要と認めたとき
  2. 評議員3名以上が必要と認めたとき
  3. 学生会員30名以上の要求があったとき
  4. 卒業生会員30名以上の要求があったとき
- 第5条 評議員会は評議員の過半数をもって成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。
- 第6条 評議員の決議は、出席評議員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

## 卒 業 生 会 員 細 則

昭和52年5月18日	経済学会総会制定承認
平成20年5月28日	経済学会総会改正承認

- 第1条 甲南大学経済学部卒業生のうち、経済学会への入会を希望する者（以下「卒業生会員」とよぶ）は、氏名、卒業年度、現住所を経済学会評議員会に登録し、「卒業生会員証」の交付を受けるものとする。登録は卒業2ヵ月前からできるものとする。
- 第2条 経済学会への入会を引き続き希望する者は、毎年1月から3月末までの間に、登録の更新を行わなければならない。なお、卒業生会員は、現住所の変更をすみやかに評議員会に届け出なければならない。
- 第3条 卒業生会員は、登録またはその更新の際、会費年4,000円を納入しなければならない。ただし、2カ年以上の登録と会費納入を一括して行うことはできる。入会金納入の義務はない。
- 第4条 卒業生会員は、経済学会すべての事業に参加し、そのサービスを受けることができる。ただし、卒業生会員は、評議員に就任することはできず、また

「総会規程」第4条にもとづいて総会での投票権をもたない。

第5条 本細則は、総会の決議によって改正することができる。